

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 12 日

フジクラ健康保険組合

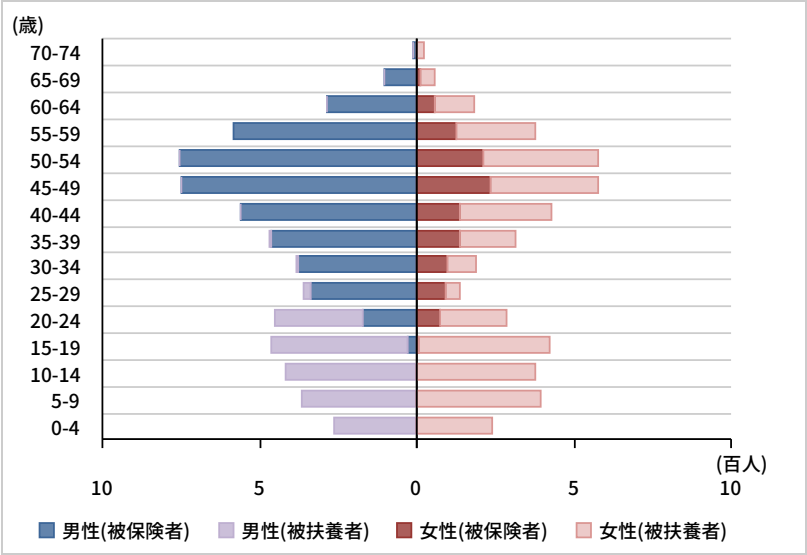
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	20081		
組合名称	フジクラ健康保険組合		
形態	単一		
業種	金属工業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	5,374名 男性78.5% (平均年齢44.9歳) * 女性21.5% (平均年齢43.7歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	10,299名	-名	-名
適用事業所数	23カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	23カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	88‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	1	14	-	-	-	-
	保健師等	6	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	4,269 / 4,721 = 90.4 %					
	被保険者	3,351 / 3,400 = 98.6 %					
	被扶養者	918 / 1,321 = 69.5 %					
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	265 / 697 = 38.0 %					
	被保険者	261 / 626 = 41.7 %					
	被扶養者	4 / 71 = 5.6 %					

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	8,000	1,489	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	20,000	3,722	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	25,000	4,652	-	-	-	-
	疾病予防費	115,000	21,399	-	-	-	-
	体育奨励費	1	0	-	-	-	-
	直営保養所費	1	0	-	-	-	-
	その他	500	93	-	-	-	-
	小計 …a	168,502	31,355	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	3,715,408	691,367	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	4.54		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	29人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	172人	25～29	338人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	379人	35～39	464人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	561人	45～49	747人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	753人	55～59	584人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	287人	65～69	104人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	9人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	4人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	75人	25～29	94人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	98人	35～39	135人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	137人	45～49	235人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	210人	55～59	124人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	56人	65～69	12人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	264人	5～9	364人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	418人	15～19	437人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	280人	25～29	22人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	4人	35～39	6人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	241人	5～9	394人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	377人	15～19	417人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	210人	25～29	47人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	89人	35～39	179人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	293人	45～49	343人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	368人	55～59	253人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	125人	65～69	43人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	22人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

【業種】金属工業の単一健保

【事業所】事業所数23、適用事業所数23

【加入者】総加入者数 10,299人（うち被保険者数5,374人）

【特徴】

①母体事業主（株式会社フジクラ）のほか、グループ会社（東北フジクラ、西日本電線等）が加入している

②中規模健保である

③フジクラ健保は大正15年に設立され、フジクラ本社は東京都江東区木場である

④フジクラほか、グループ会社を含め、全国（東京・千葉・静岡・三重・秋田・大分・熊本など）に拠点が存在する。

⑤被保険者の年齢は40歳代以上に偏っており、また、男性割合が多い（78.5%）

⑥加入者全体の前期高齢者の比率は1.38%である

⑦母体事業主が健康経営推進部署を設置するとともに、関係部門代表（健保、健康経営推進部署等）が参加するコラボヘルス協議会を開催し、積極的にコラボヘルス・健康経営を推進している。

⑧健保組合には兼務の医療職のみ所属している。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴	
1．各保健事業の効果検証を行い、限られたマンパワーの効果的な活用が課題。	
2．特に生活習慣病リスク・がん対策を拡充し、アウトカム向上を目指す。	
3．被扶養者の特定保健指導実施率が他健保と比較して低く、被扶養者に対する施策拡大を進める。	
4．事業所ごとの健康意識や健康リスクの差異が明確であることから、コラボヘルス体制の構築が重要となる。	

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	コラボヘルス（職場環境改善）
予算措置なし	コラボヘルス（健康推進体制整備）
予算措置なし	コラボヘルス（産業医療職連携）
予算措置なし	コラボヘルス（事業主との情報共有会議）
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	個別的情報提供（ケンボマイポータル）
保健指導宣伝	ジェネリック利用促進
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	運動対策（歩数イベント）
疾病予防	歯科健診・歯科保健指導の実施
予算措置なし	禁煙対策（禁煙プロジェクト）
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	重症化予防プログラム（糖尿病性腎症）
疾病予防	家族健診
疾病予防	任意継続者健診（前期高齢者対策）
疾病予防	人間ドック補助
疾病予防	脳ドック補助
疾病予防	胃がんリスク検診（ピロリ菌検査）
疾病予防	胃がん健診（X線）
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
予算措置なし	家庭用常備薬斡旋
事業主の取組	
1	有所見者受診勧奨
2	職場環境改善
3	健康相談体制整備
4	海外赴任者健康管理
5	健康管理システム
6	労働生産性等関連調査
7	禁煙促進
8	健康に関するeラーニング
9	健康情報提供
10	ヘルシーメニュー提供
11	オリジナルエクササイズ
12	女性の健康セミナー
13	新入社員への健康教育

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	1	コラボヘルス（職場環境改善）	従業員の健康意識向上及び職場環境改善を目指した事業主及び産業医との連携	母体企業	男女	18～74	被保険者		- 前年度事業を継続	前年度事業を継続	特に課題は認識していない	5
	1	コラボヘルス（健康推進体制整備）	従業員の健康意識向上及び職場環境改善を目指した事業主及び産業医との連携	母体企業	男女	18～74	被保険者		- 前年度事業を継続	前年度事業を継続	特に課題は認識していない	5
	1	コラボヘルス（産業医療連携）	従業員の健康意識向上及び職場環境改善を目指した事業主及び産業医との連携	母体企業	男女	18～74	被保険者		- 前年度事業を継続	前年度事業を継続	前年度事業を継続	5
	1	コラボヘルス（事業主との情報共有会議）	従業員の健康意識向上及び職場環境改善を目指した事業主及び産業医との連携	全て	男女	0～74	加入者全員		- 前年度事業を継続	前年度事業を継続	新型コロナウイルス感染症の影響により定例会を一部中止	5
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,3	個別の情報提供（ケンボマイポータル）	加入者の健康増進の意識付け	全て	男女	18～74	加入者全員		健保システムから個別の情報提供を実施	健保システムからシームレスに個別の情報提供を実施できている	さらなる参照率向上のため、周知活動が必要	5
	7	ジェネリック利用促進	後発医薬品利用促進による調剤医療費の適正化・削減	全て	男女	18～74	基準該当者		実施率100% 保険証交付時に冊子交付	HPによる情報提供実施	後発医薬品の品薄	5
	2	医療費通知	医療費に関する意識向上	全て	男女	18～74	基準該当者		実施率100% 随時閲覧および年間分を翌2月に郵送	郵送によるプッシュ型通知	郵送に伴うコスト	5
疾病予防	5	運動対策（歩数イベント）	運動に関する健康づくり事業の実施及び肥満解消率の向上	全て	男女	18～74	加入者全員		- 健康アプリ リニューアル R4・10～	歩数イベント、食生活イベント等、インセンティブあり	被扶養者の利用拡大	1
	3,4	歯科健診・歯科保健指導の実施	口腔状態の管理・指導及び口腔ケアの意識向上・習慣の定着の実施	全て	男女	0～74	加入者全員		利用：被保40名、被扶9名 R3年8月から通年実施	全国展開の歯科健診取次サービスと契約	利用率の向上	2
予算措置なし	5	禁煙対策（禁煙プロジェクト）	喫煙率の低下及び健康リスク（肥満・血圧・血糖・脂質・肝機能・腎機能リスク）の低下	全て	男女	～74	加入者全員		- オンライン禁煙外来費用補助を随時実施、R3から累積11名利用	事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	岩盤層の突き崩し	1
個別の事業												
特定健康診査事業	3,4	特定健康診査	・被保険者・被扶養者の特定健診受診率向上 ・メタボリックシンドローム・生活習慣病の早期発見・早期治療	全て	男女	40～74	加入者全員		【被保険者】 受診率99% 健保負担は特健データ作成料のみ - 【任意継続者】 受診率66% 主に2～3月実施 【被扶養者】 受診率71% 主に8～3月実施	・事業者との共同実施 ・現役同様の健診項目を実施 ・巡回健診も実施	・被保険者の休職者の未受診 ・任継の受診率が低い ・被扶養者の長期未受診者の存在	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	4	特定保健指導	・特定保健指導実施率向上及び特定保健指導対象者の減少 ・メタボリックシンドローム・生活習慣病の早期改善	全て	男女	40～74	基準該当者		実施率31%(R3実績・10月報告値) 通年実施	被保険者には事業者保健師の勧奨/実施、被扶養者/任継者にはICT型を案内	特定保健指導経験者の利用敬遠	3
疾病予防	4	重症化予防プログラム（糖尿病性腎症）	重症化予防プログラムによる健康リスクの低下及び医療費の削減	全て	男女	18～74	被扶養者,基準該当者		-被扶養者への利用案内を実施	被扶養者にはICT型を案内	被扶養者の利用申込はゼロ	1
	3,4	家族健診	被扶養者を対象に各種疾患リスクの早期発見・早期治療	全て	男女	30～74	被扶養者		実施率75%(1327/被扶妻夫1769(4初現在)) 主に9～3月実施	巡回健診の実施	長期未受診者の存在	3
	3,5	任意継続者健診（前期高齢者対策）	任意継続被保険者・被扶養者を対象に各種疾患リスクの早期発見・早期治療	全て	男女	40～74	任意継続者		受診率66% 主に2～3月実施	現役同様の健診項目を実施	受診率が低い	5
	3	人間ドック補助	生活習慣病をはじめとする体の異常を早期発見・早期治療	全て	男女	30～74	その他		利用：19名（R4実績） 通年実施	なし	定期健診の代替	1
	3	脳ドック補助	脳梗塞などの脳疾患発症リスクの早期発見・早期治療	全て	男女	30～74	その他		利用8名(R4 実績) 通年実施	特になし（予定どおり実施）	特に課題は認識していない	1
	3	胃がんリスク検診（ピロリ菌検査）	胃がんの早期発見、早期治療	全て	男女	35～-	被保険者		-通年実施	特になし（予定どおり実施）	特に課題は認識していない	1
	3	胃がん健診（X線）	胃がんの早期発見、早期治療	全て	男女	30～74	基準該当者		-通年実施	特になし（予定どおり実施）	特に課題は認識していない	1
	3	インフルエンザ予防接種補助	・インフルエンザ及びコロナウィルス感染者（被扶養者）の減少 ・呼吸器疾患医療費の減少	全て	男女	18～74	被保険者		実施率53%(2884/5422(被保10末現在)) 主に10～12月実施	巡回接種の実施	予防接種希望者の減少	2
予算措置なし	8	家庭用常備薬斡旋	加入者に対して家庭用常備薬の利用を推奨し、医療費の抑制を図る	全て	男女	18～74	加入者全員		-前年度事業を踏襲	特になし（予定どおり実施）	特に課題は認識していない	5

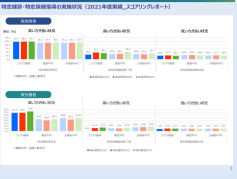
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

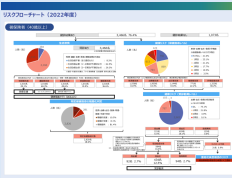
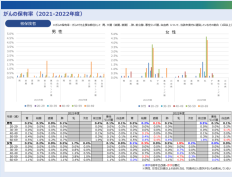
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り				共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
事業主の取組									
有所見者受診勧奨	従業員の健康管理をより充実させるため、健診受診勧奨と有所見者のフォローを徹底	被保険者	男女	18 ～ 64	各事業所毎の集団健診実施および有所見者の受診勧奨	集団健診のため、実施率は高い。また医療職による徹底した有所見者への受診勧奨が効果	—		有
職場環境改善	より良い職場環境の整備を目指し、管理職に自部門の現状把握と改善の気づきを得ていただくため、ストレスチェック結果の職場別分析および他部門での対策のグッドプラクティスを管理職へフィードバック	被保険者	男女	18 ～ 64	職場ごとのリスク分析各管理職へのとフィードバックおよび管理職から自職場におけるグッドプラクティスを他の管理職へ共有	管理職の課題認識	—		無
健康相談体制整備	本人・家族の不安を払拭することで、活き活きと働いてもらうため、社内外の心身の健康相談に関するカウンセリング体制の提供、フォロー	被保険者	男女	18 ～ 64	ストレスチェック後などに窓口の案内を実施。	社内、社外と選択して相談できる体制が構築されていること。	利用者数に対する費用対効果		無
海外赴任者健康管理	海外赴任者の健康管理徹底のため、赴任時、帰着時に加え、定期健康診断の実施、保健指導、就労管理を実施	被保険者	男女	18 ～ 64	定期健康診断結果を踏まえた保健指導実施体制の構築	—	—		無
健康管理システム	効果的な健康管理およびセキュリティ向上のため、健康管理システムによる健康関連データの一元管理	被保険者	男女	18 ～ 64	システム要件定義、構築、運営開始	外部のクラウドサービスをカスタマイズして導入	運用できる専門知識を有する人材の確保、育成		有
労働生産性等関連調査	労働生産性等に影響のある項目の調査と改善に向けた施策の検討	被保険者	男女	18 ～ 64	ストレスチェックに合わせてプレゼンティーイズム、ワークエンゲージメント、主観的健康感を調査	繰り返しの実施勧奨	改善に向けた施策の検討、実行体制の構築		無
禁煙促進	喫煙率の低減のため、喫煙所の環境整備（受動喫煙防止）禁煙プログラムの推奨	被保険者	男女	20 ～ 64	本社喫煙所閉鎖 健保提供の禁煙プログラム参加を推奨	—	岩盤層へのアプローチ		無
健康に関するeラーニング	健康意識の醸成およびリテラシー向上のため、健康に関するeラーニング実施	被保険者	男女	18 ～ 64	2023年度より全員および管理職向けeラーニングを実施。	新たにeラーニングを実施できたこと。	研修内容の定期的なアップデート		無
健康情報提供	健康意識の醸成とリテラシー向上のため、健康に関する社内イントラのアップデートと情報の頻繁な更新	被保険者	男女	18 ～ 64	事業所別にバラバラだった健康関連のイントラを統合。定期的に健康情報を配信。	頻繁な情報更新とサイト統合およびデザイン刷新によるUIの向上	掲載内容の定期的なアップデート		無
ヘルシーメニュー提供	健康意識の醸成とリテラシー向上のため、社員食堂のヘルシーメニュー化	被保険者	男女	18 ～ 64	ヘルシー弁当などの導入	給食会社との連携	導入後のメニュー改善、在宅勤務による出社減		無
オリジナルエクササイズ	運動の習慣化のため、職場（在宅）における自社でオリジナルエクササイズを製作、導入	被保険者	男女	18 ～ 64	動画によるオリジナルエクササイズをイントラへ掲載。	在宅でもできるよう、イントラへ掲載、個人の状況に応じて座位でもできるような動画を作成	内容のマンネリ化対策		無
女性の健康セミナー	女性の健康への意識醸成のため、医療職による女性の健康に関するセミナーを実施	被保険者	男女	18 ～ 64	全従業員（性別問わず）を参加対象として実施	—	参加者増に向けた 告知・周知		無
新入社員への健康教育	若年層の健康意識の醸成とリテラシー向上のため、新入社員研修時に医療職による健康に関する講話および全員との面談、健保導入の健康増進アプリの紹介を実施。	被保険者	男女	18 ～ 23	高卒者、企画専門職全員へ実施	人事と医療職の連携	研修内容の定期的なアップデート		無

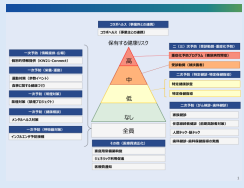
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		加入者構成	加入者構成の分析	-
イ		医療費	医療費・患者数分析	-
ウ		疾病別医療費	医療費・患者数分析	-
エ		高額医療費	医療費・患者数分析	-
オ		特定健診	特定健診分析	-
カ		特定保健指導	特定保健指導分析	-

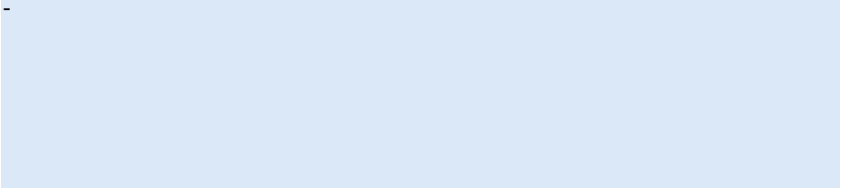
キ		健康リスク	健康リスク分析	-
ク		生活習慣・健康意識	健康リスク分析	-
ケ		高リスク	健康リスク分析	-
コ		ジェネリック	後発医薬品分析	-
サ		新生物	その他	-
シ		精神疾患	その他	-
ス		呼吸器	その他	-

セ

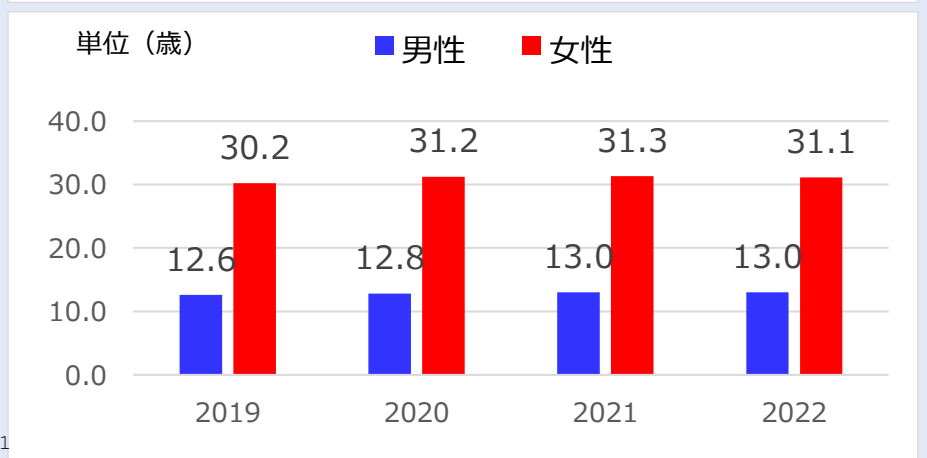
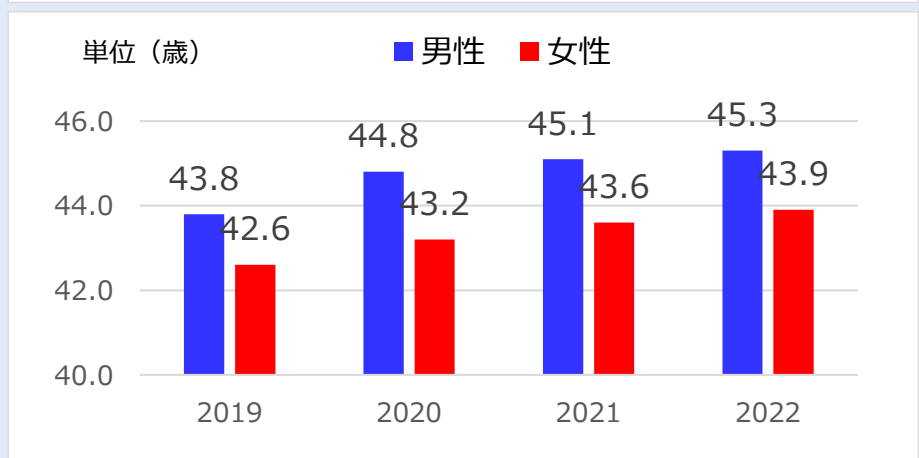
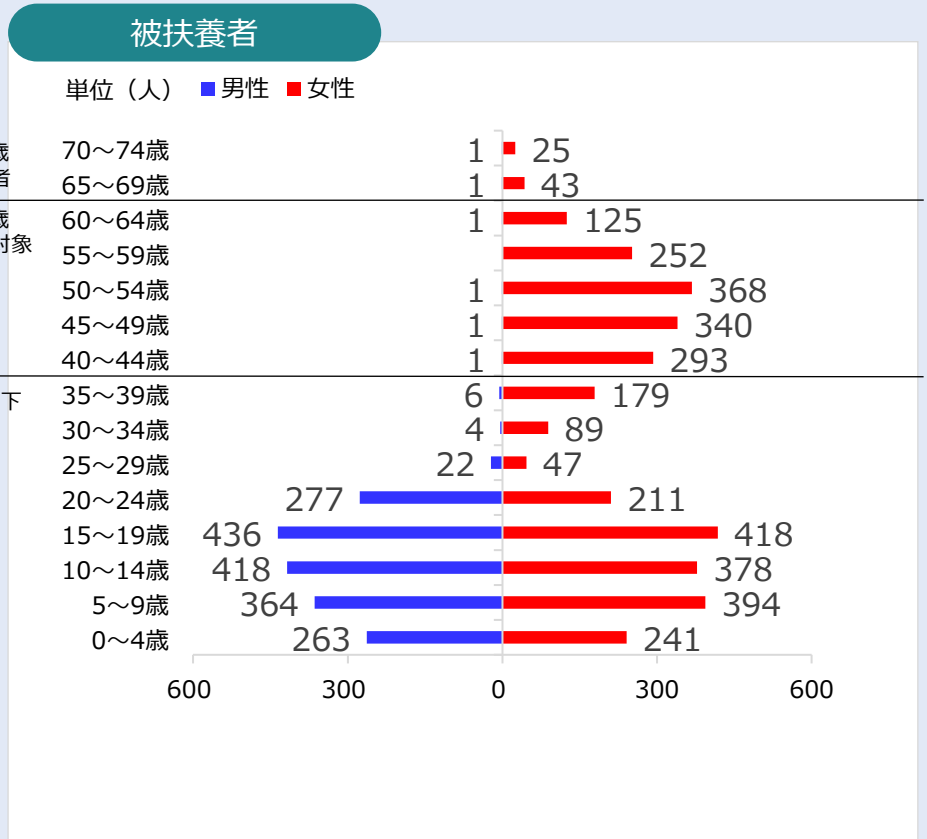
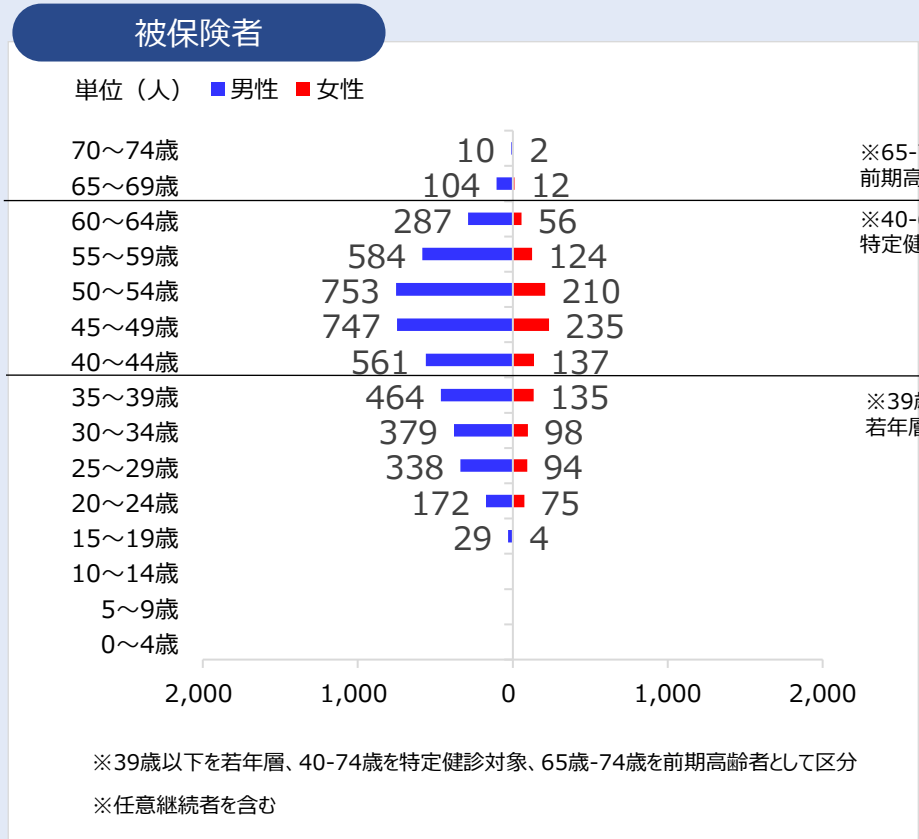


保健事業

その他

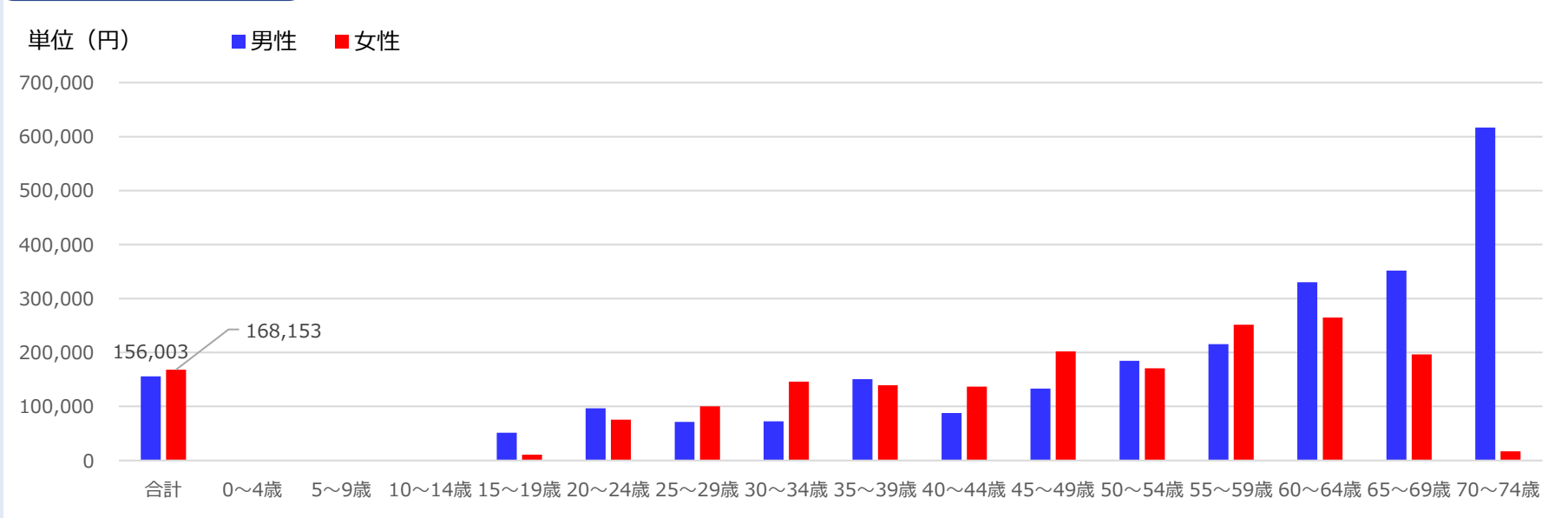


性年齢構成及び平均年齢（2022年度）

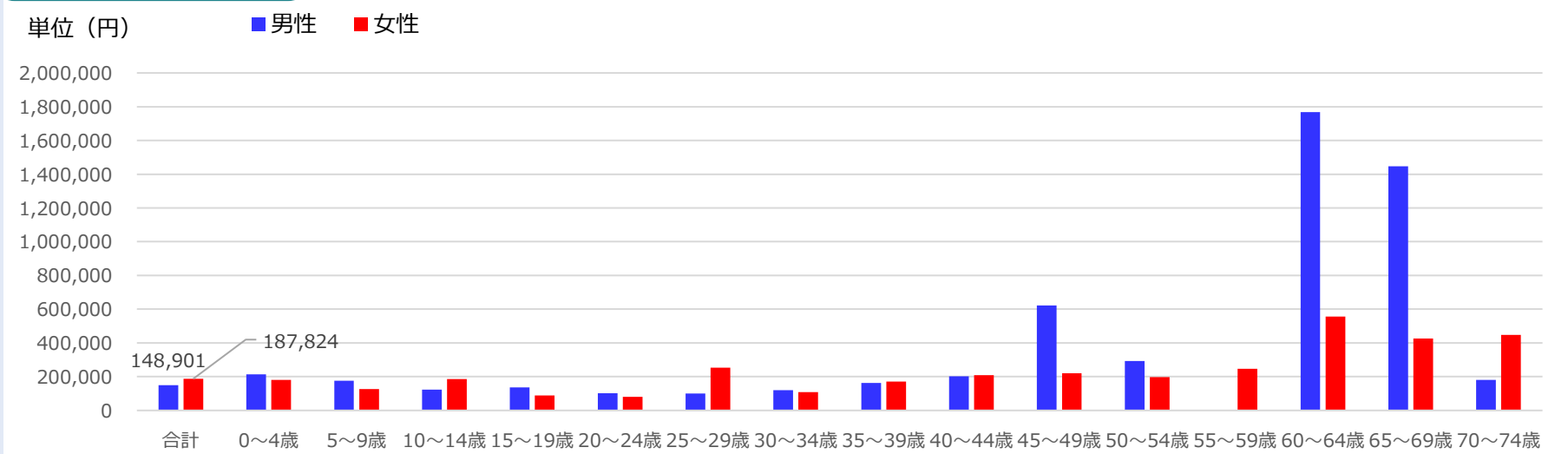


一人当たり医療費（2022年度）

被保険者



被扶養者



一人当たり医療費（2022年度）

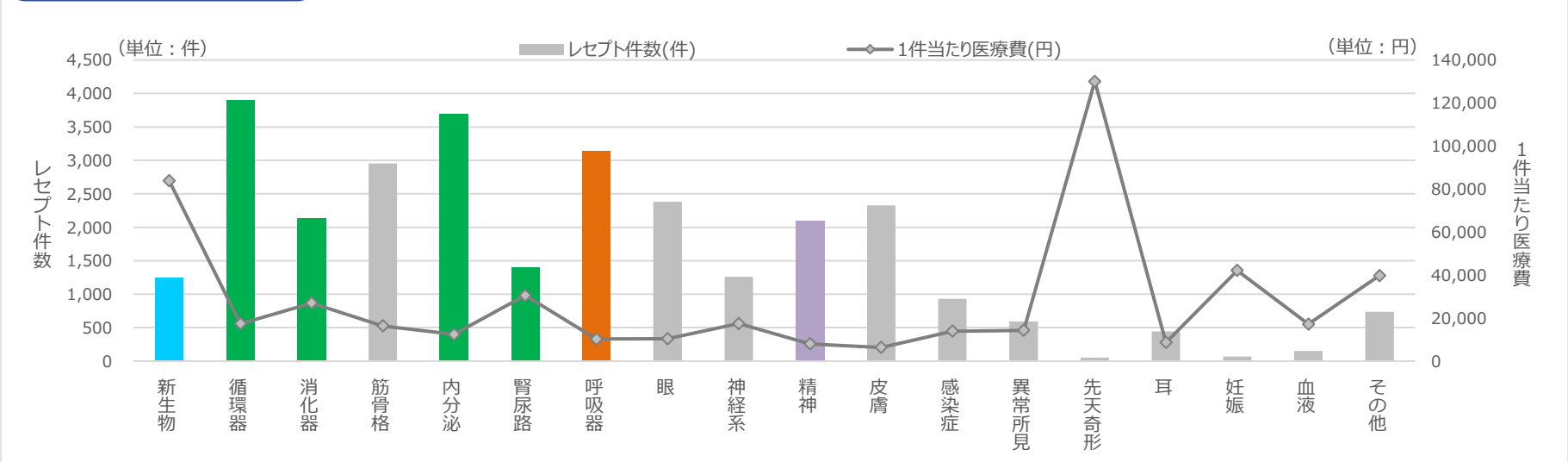
被保険者		1人当たり医療費（単位：円）										
		2019年度			2020年度			2021年度			2022年度	
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
合計	140,081	140,154	139,780	136,829	135,922	140,584	150,075	149,760	151,332	158,563	156,003	168,153
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	49,272	41,127	81,853	134,404	181,335	31,157	25,829	19,487	40,625	46,292	51,196	10,738
20～24歳	88,492	100,419	56,887	73,015	62,232	105,084	66,763	62,706	78,546	90,095	96,513	75,375
25～29歳	59,493	52,582	86,561	51,734	46,901	69,058	69,724	67,357	78,834	77,870	71,615	100,360
30～34歳	80,564	72,830	115,366	76,079	66,013	118,022	81,968	70,520	123,707	87,515	72,361	146,121
35～39歳	105,080	103,769	110,495	101,092	99,788	106,443	119,955	112,897	148,837	148,063	150,573	139,433
40～44歳	115,380	108,175	141,251	99,025	93,626	119,569	118,292	107,997	157,135	97,329	87,754	136,540
45～49歳	139,037	144,988	117,593	128,528	131,360	118,800	148,020	154,690	125,777	149,736	133,214	202,255
50～54歳	170,396	165,651	194,180	208,650	220,757	148,898	180,115	185,543	156,482	181,677	184,785	170,533
55～59歳	210,401	209,567	215,731	196,750	183,645	272,812	202,861	189,419	270,423	221,641	215,260	251,690
60～64歳	308,889	317,561	277,049	201,064	185,030	278,750	282,138	284,408	270,864	319,749	330,437	264,974
65～69歳	276,142	299,221	112,495	270,208	261,386	330,409	332,345	360,438	126,817	335,834	351,948	196,181
70～74歳	347,387	390,902	86,300	246,129	260,951	23,800	181,867	183,691	156,330	516,608	616,566	16,820

被扶養者		1人当たり医療費（単位：円）										
		2019年度			2020年度			2021年度			2022年度	
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
合計	149,616	121,591	164,113	135,082	103,712	151,129	155,065	117,261	174,579	174,378	148,901	187,824
0～4歳	184,522	196,784	172,733	148,945	136,545	160,871	172,405	179,423	165,262	198,574	214,250	181,466
5～9歳	172,960	159,445	187,188	144,917	135,497	154,634	151,114	140,122	161,450	149,589	175,370	125,772
10～14歳	132,892	131,788	134,024	92,077	109,074	73,782	101,952	114,115	88,361	152,679	122,984	185,516
15～19歳	65,720	70,552	60,022	89,071	76,178	103,340	95,350	97,597	92,973	113,011	136,826	88,171
20～24歳	62,351	50,483	75,077	64,733	58,079	72,200	70,988	55,821	89,914	92,271	101,172	80,587
25～29歳	135,070	143,518	132,355	109,886	113,452	108,616	149,458	152,378	148,424	204,150	99,709	253,037
30～34歳	143,454	47,262	147,251	112,797	118,609	112,409	103,899	140,708	100,586	108,814	119,220	108,347
35～39歳	212,933	97,055	213,824	138,351	57,155	138,988	167,057	74,900	167,899	170,712	162,108	171,000
40～44歳	115,493	151,990	115,294	128,083	650,820	126,527	159,186	1,016,680	156,596	208,327	201,290	208,351
45～49歳	156,186	314,290	155,847	177,656	553,005	176,002	220,658	470,130	220,008	221,350	621,600	220,173
50～54歳	199,958	-	199,958	242,018	-	242,018	211,350	351,640	211,015	197,660	292,580	197,402
55～59歳	216,734	-	216,734	172,565	-	172,565	241,335	0	242,305	246,673	-	246,673
60～64歳	462,624	83,990	478,533	343,011	12,110	345,079	536,297	-	536,297	566,251	1,768,150	556,635
65～69歳	406,959	137,930	419,188	196,180	94,350	203,084	355,102	207,670	363,001	448,535	1,447,750	425,297
70～74歳	479,370	0	496,490	338,405	-	338,405	339,211	147,000	347,220	436,605	181,320	446,816

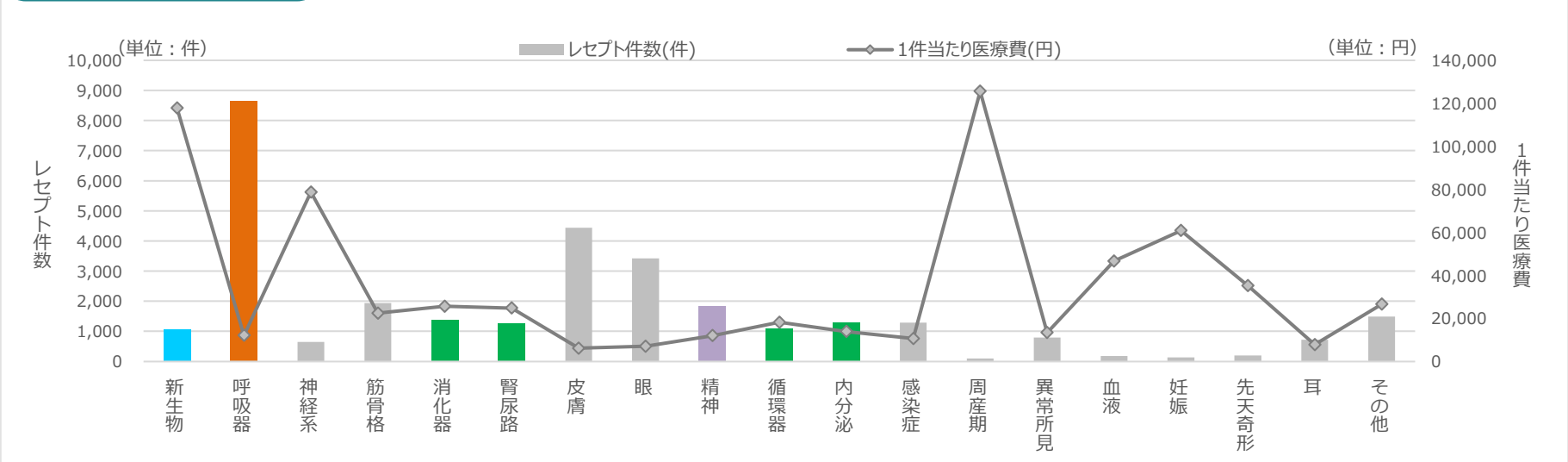
疾病大分類別医療費（2022年度）

レセプト件数×1件当たり医療費の高額な順に表示

被保険者



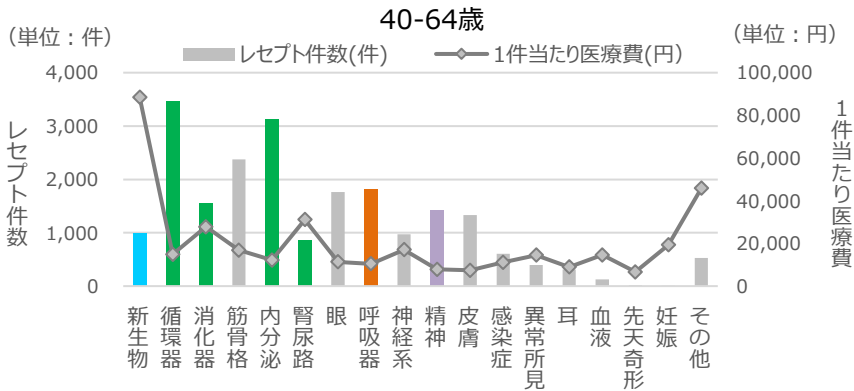
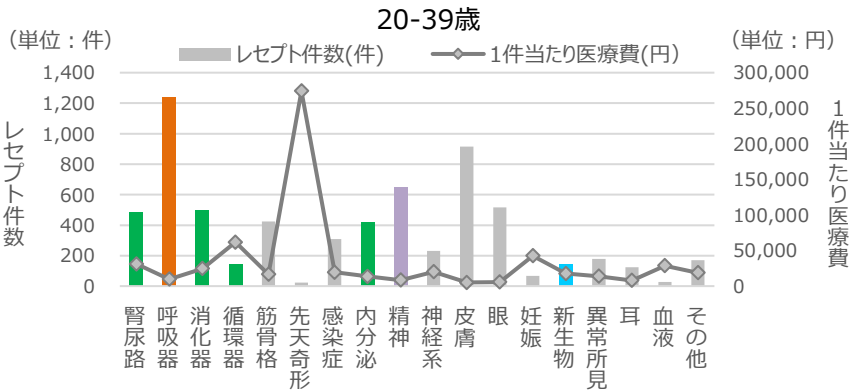
被扶養者



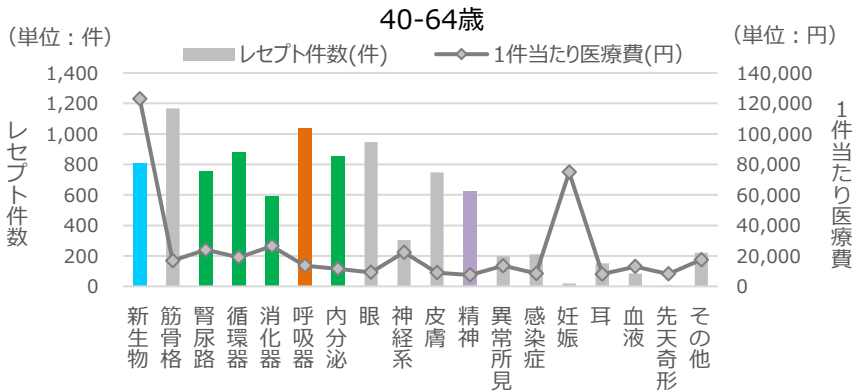
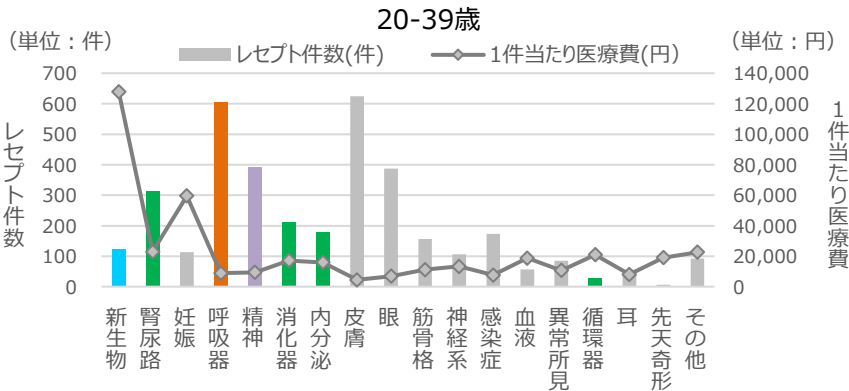
疾病大分類別医療費（2022年度）

レセプト件数×1件当たり医療費の高額な順に表示

被保険者



被扶養者



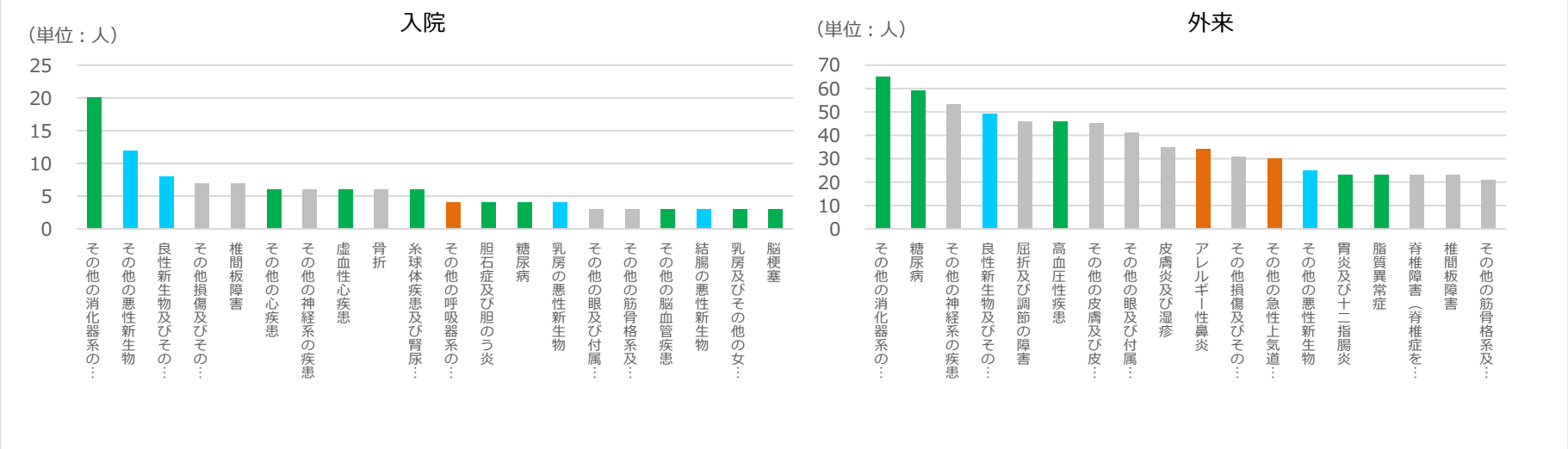
疾病大分類別医療費（2022年度）

1件当たり医療費（単位：円）						被保険者	
2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
新生物	72,580	新生物	88,863	新生物	86,800	先天奇形	129,992
妊娠	34,955	妊娠	49,096	妊娠	71,196	新生物	83,805
腎尿路	25,512	腎尿路	26,990	先天奇形	61,669	妊娠	42,118
消化器	23,942	神経系	26,691	腎尿路	25,941	腎尿路	30,552
神経系	21,502	消化器	22,706	神経系	22,009	消化器	26,967
循環器	19,403	異常所見	18,259	筋骨格	20,827	神経系	17,437
先天奇形	19,120	耳	17,614	消化器	20,732	循環器	17,382
耳	15,787	循環器	16,341	循環器	18,772	血液	17,158
筋骨格	15,032	筋骨格	15,302	異常所見	17,050	筋骨格	16,379
異常所見	14,500	感染症	12,708	感染症	14,169	異常所見	14,313
内分泌	11,983	内分泌	12,526	内分泌	12,275	感染症	13,913
眼	11,402	血液	11,788	血液	11,800	内分泌	12,477
精神	11,176	精神	11,064	呼吸器	11,697	眼	10,397
感染症	10,845	眼	10,996	耳	11,671	呼吸器	10,249
血液	10,702	呼吸器	9,541	眼	11,118	耳	8,643
呼吸器	8,194	先天奇形	8,785	精神	8,479	精神	8,011
皮膚	6,798	皮膚	8,270	皮膚	7,182	皮膚	6,375
周産期	5,640	その他	29,812	その他	24,086	その他	39,743
その他	20,470	-	-	-	-	-	-

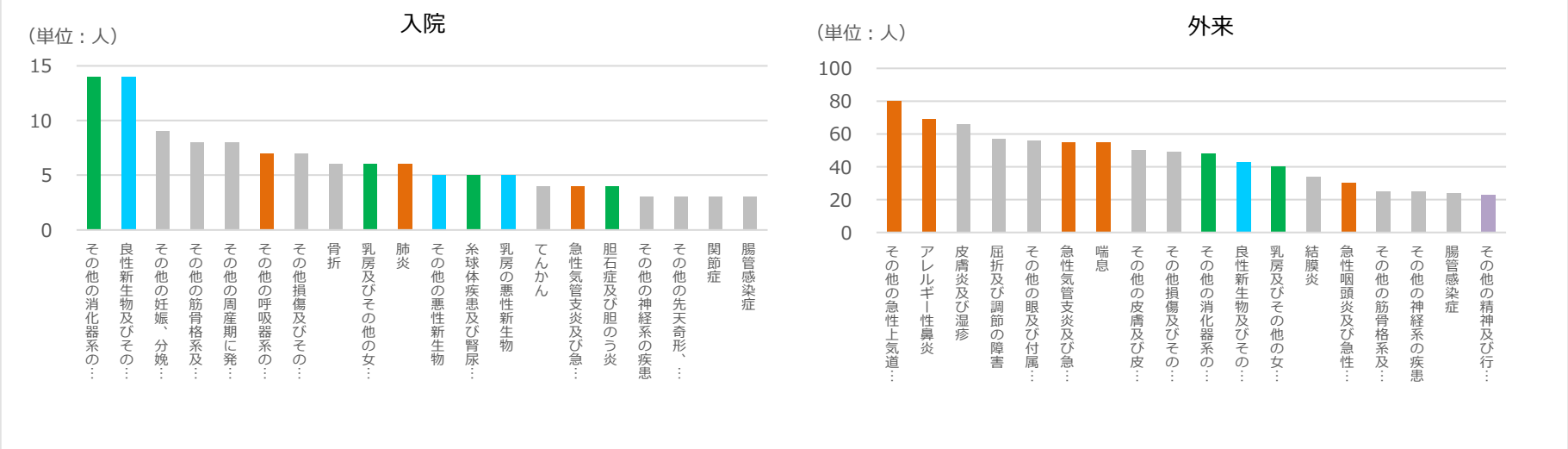
1件当たり医療費（単位：円）						被扶養者	
2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
新生物	72,580	新生物	88,863	新生物	86,800	先天奇形	129,992
妊娠	34,955	妊娠	49,096	妊娠	71,196	新生物	83,805
腎尿路	25,512	腎尿路	26,990	先天奇形	61,669	妊娠	42,118
消化器	23,942	神経系	26,691	腎尿路	25,941	腎尿路	30,552
神経系	21,502	消化器	22,706	神経系	22,009	消化器	26,967
循環器	19,403	異常所見	18,259	筋骨格	20,827	神経系	17,437
先天奇形	19,120	耳	17,614	消化器	20,732	循環器	17,382
耳	15,787	循環器	16,341	循環器	18,772	血液	17,158
筋骨格	15,032	筋骨格	15,302	異常所見	17,050	筋骨格	16,379
異常所見	14,500	感染症	12,708	感染症	14,169	異常所見	14,313
内分泌	11,983	内分泌	12,526	内分泌	12,275	感染症	13,913
眼	11,402	血液	11,788	血液	11,800	内分泌	12,477
精神	11,176	精神	11,064	呼吸器	11,697	眼	10,397
感染症	10,845	眼	10,996	耳	11,671	呼吸器	10,249
血液	10,702	呼吸器	9,541	眼	11,118	耳	8,643
呼吸器	8,194	先天奇形	8,785	精神	8,479	精神	8,011
皮膚	6,798	皮膚	8,270	皮膚	7,182	皮膚	6,375
周産期	5,640	その他	29,812	その他	24,086	その他	39,743
その他	20,470	-	-	-	-	-	-

高額医療費 入院・外来別（2022年度）

被保険者

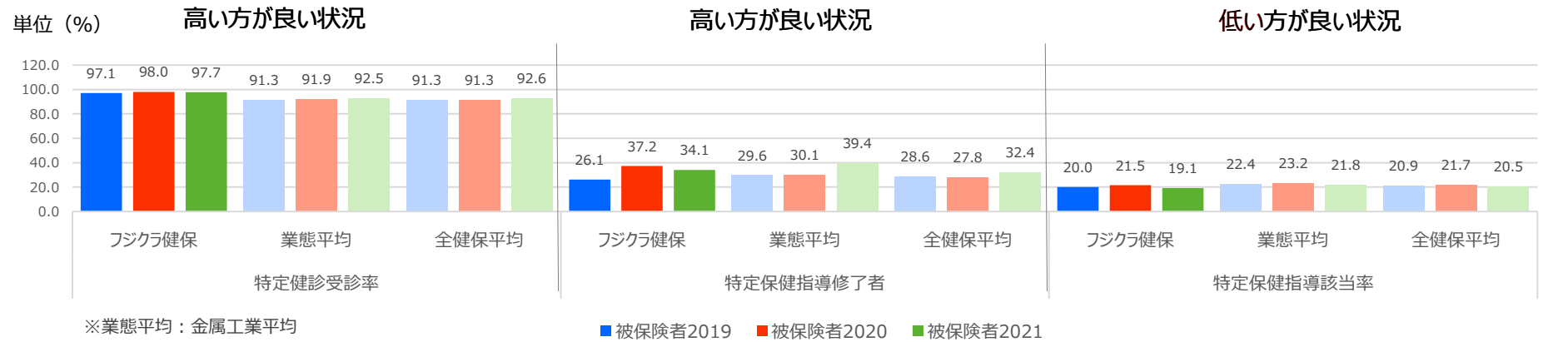


被扶養者

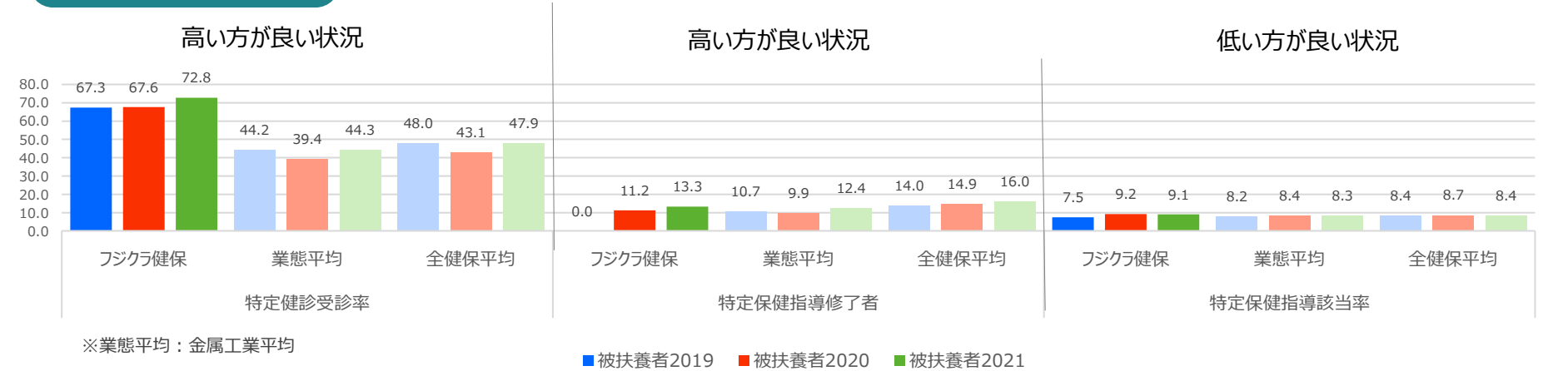


特定健診・特定保健指導の実施状況（2021年度実績_スコアリングレポート）

被保険者



被扶養者



特定健診の実施状況

被保険者

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	該当人数 (人)	構成比 (%)
計					3,453	100.0
1	×	×	×	×	87	2.5
2	×	×	×	○	10	0.3
3	×	×	○	×	10	0.3
4	×	×	○	○	29	0.8
5	×	○	×	×	6	0.2
6	×	○	×	○	4	0.1
7	×	○	○	×	22	0.6
8	×	○	○	○	117	3.4
9	○	×	×	×	5	0.1
10	○	×	×	○	0	0.0
11	○	×	○	×	5	0.1
12	○	×	○	○	14	0.4
13	○	○	×	×	31	0.9
14	○	○	×	○	15	0.4
15	○	○	○	×	591	17.1
16	○	○	○	○	2,507	72.6

被扶養者

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	該当人数 (人)	構成比 (%)
計					1,244	100.0
1	×	×	×	×	246	19.8
2	×	×	×	○	17	1.4
3	×	×	○	×	24	1.9
4	×	×	○	○	33	2.7
5	×	○	×	×	10	0.8
6	×	○	×	○	6	0.5
7	×	○	○	×	24	1.9
8	×	○	○	○	76	6.1
9	○	×	×	×	25	2.0
10	○	×	×	○	16	1.3
11	○	×	○	×	15	1.2
12	○	×	○	○	33	2.7
13	○	○	×	×	19	1.5
14	○	○	×	○	14	1.1
15	○	○	○	×	163	13.1
16	○	○	○	○	523	42.0

下記の3つの条件を満たすものを対象とする。

- ①資格取得年月日が2019年3月31日以前である。
- ②資格喪失年月日が2022年4月1日以降である。
- ③年齢が43歳以上75歳未満を対象とする。

(2019年～2022年において特定健診対象の40歳未満の加入者を除外するため)

特定保健指導の実施状況（2022年度）

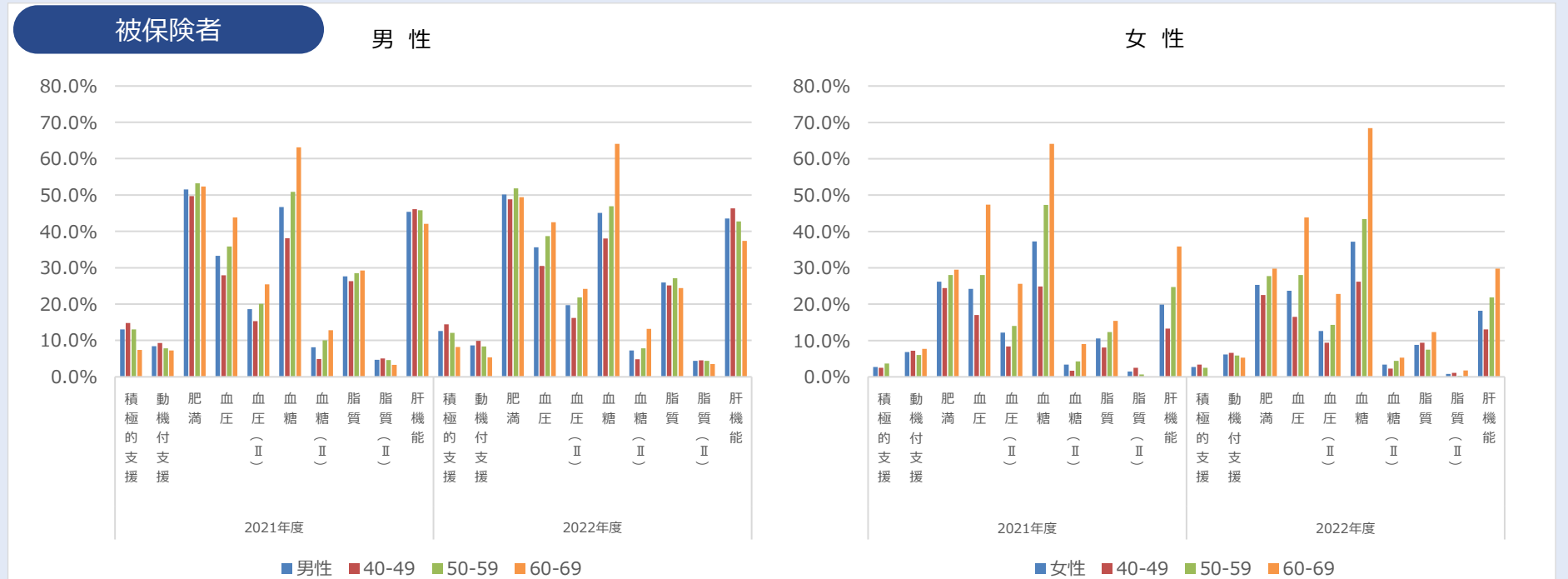
被保険者

		合計			積極的支援			動機づけ支援			
		合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	
合計			24.3	23.6	30.8	25.9	25.6	30.0	22.3	20.7	31.1
	40～44歳		19.5	18.4	28.6	21.6	20.0	50.0	16.7	15.9	20.0
	45～49歳		25.5	25.1	28.6	29.4	27.7	50.0	20.7	21.6	15.4
	50～54歳		23.3	21.2	41.2	21.1	21.6	0.0	26.0	20.7	46.7
	55～59歳		31.2	33.3	10.0	31.7	35.1	0.0	30.4	31.0	25.0
	60～64歳		28.9	27.8	50.0	32.1	32.1	0.0	20.0	12.5	50.0
	65～69歳		9.1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	100.0
	70～74歳		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	【再掲】	40～64歳	0.0	0.0	29.7	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	29.5
		65～74歳	9.1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	100.0

被扶養者

		合計			積極の支援			動機づけ支援			
		合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	
合計			7.0	0.0	7.0	5.6	0.0	5.6	7.5	0.0	7.5
	40～44歳		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	45～49歳		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	50～54歳		11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2
	55～59歳		18.2	0.0	18.2	25.0	0.0	25.0	14.3	0.0	14.3
	60～64歳		20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	65～69歳		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	【再掲】	40～64歳	7.5	0.0	7.5	5.6	0.0	5.6	8.2	0.0	8.2
		65～74歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

健康リスク 被保険者男女別（2021-2022年度）

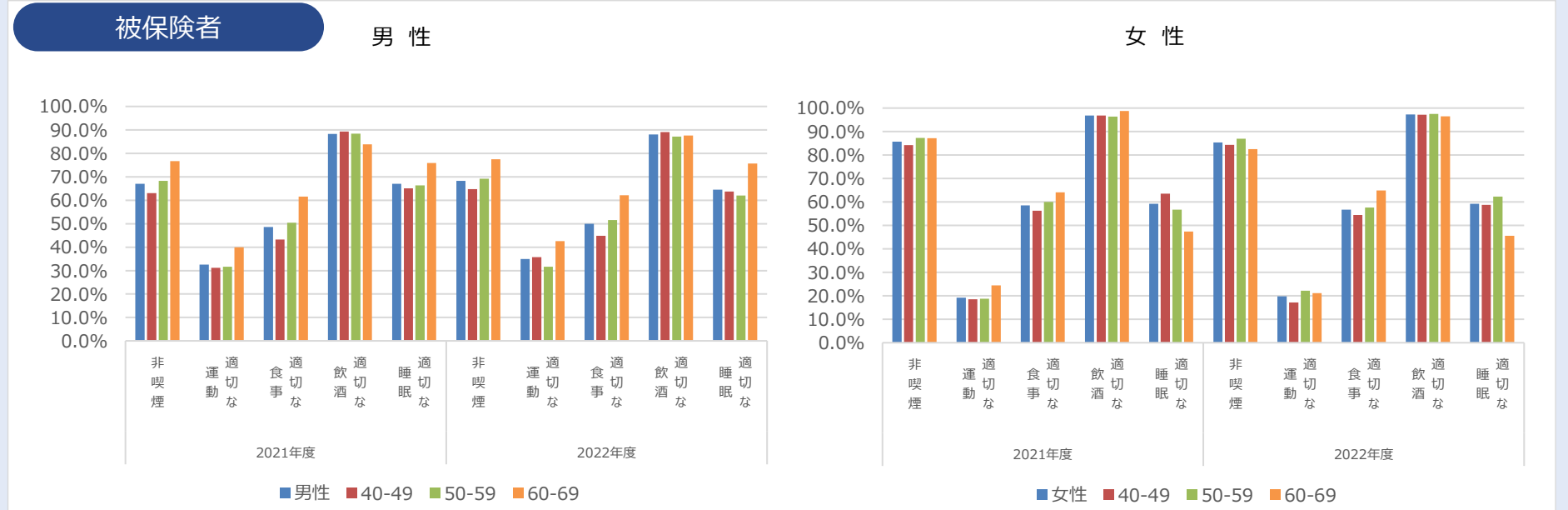


年齢	2021年度										2022年度									
	積極的支援	動機付支援	肥満	血圧	血圧(Ⅱ)	血糖	血糖(Ⅱ)	脂質	脂質(Ⅱ)	肝機能	積極的支援	動機付支援	肥満	血圧	血圧(Ⅱ)	血糖	血糖(Ⅱ)	脂質	脂質(Ⅱ)	肝機能
男性	13.0%	8.4%	51.5%	33.3%	18.6%	46.7%	8.1%	27.6%	4.7%	45.4%	12.6%	8.6%	50.1%	35.6%	19.7%	45.1%	7.2%	25.9%	4.4%	43.5%
40-49	14.8%	9.3%	49.7%	27.9%	15.3%	38.1%	4.9%	26.3%	5.0%	46.1%	14.4%	9.9%	48.8%	30.5%	16.2%	38.0%	4.8%	25.1%	4.5%	46.3%
50-59	13.0%	7.8%	53.2%	35.8%	20.1%	50.9%	10.0%	28.5%	4.6%	45.8%	12.1%	8.3%	51.8%	38.7%	21.8%	46.9%	7.8%	27.1%	4.4%	42.7%
60-69	7.4%	7.2%	52.3%	43.8%	25.4%	63.1%	12.8%	29.2%	3.3%	42.1%	8.2%	5.3%	49.4%	42.5%	24.2%	64.1%	13.2%	24.4%	3.5%	37.4%
女性	2.7%	6.8%	26.2%	24.2%	12.2%	37.3%	3.4%	10.6%	1.5%	19.9%	2.7%	6.2%	25.3%	23.7%	12.6%	37.2%	3.4%	8.8%	0.8%	18.2%
40-49	2.5%	7.2%	24.4%	17.0%	8.4%	24.9%	1.7%	8.1%	2.5%	13.3%	3.4%	6.6%	22.5%	16.5%	9.4%	26.2%	2.3%	9.4%	1.1%	13.1%
50-59	3.7%	6.0%	28.0%	28.0%	14.0%	47.3%	4.3%	12.3%	0.7%	24.7%	2.5%	5.9%	27.7%	28.0%	14.3%	43.4%	4.4%	7.5%	0.3%	21.9%
60-69	0.0%	7.7%	29.5%	47.4%	25.6%	64.1%	9.0%	15.4%	0.0%	35.9%	0.0%	5.3%	29.8%	43.9%	22.8%	68.4%	5.3%	12.3%	1.8%	29.8%

※青字は前年比改善・赤字は悪化
※男性、女性は40歳以上の合計となる、70歳代は人数が少ないため表示していない

<健康リスク保有者の判定基準（保健指導レベル）>
1.肥満（内臓脂肪型肥満のリスク保有者）：BMI25以上、または腹囲85cm(男性)・90cm(女性)以上 ※内臓脂肪面積は判定基準に使用しない
2.血糖リスク（糖尿病のリスク保有者）：空腹時血糖値100mg/dl以上、またはHbA1c 5.6%以上、※HbA1cはNGSP値
※随時血糖は判定基準に使用しない（空腹時血糖及びHbA1cの両方を測定している場合は、両方を採用） このため、健康スコアリングレポートより保有率が高くなることに留意
3.血圧リスク（高血圧のリスク保有者）：収縮期130mmHg以上、または拡張期85mmHg以上 4.脂質リスク（脂質異常症のリスク保有者）：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満
5.肝機能リスク（肝機能異常症のリスク保有者）：AST31以上、またはALT31以上、またはγ-GT51以上
<健康リスク保有者の判定基準（受診勧奨レベル（Ⅱ））>
■血糖リスク（糖尿病のリスク保有者）：空腹時血糖値126mg/dl以上、またはHbA1c 6.5%以上 ■血圧リスク（高血圧のリスク保有者）：収縮期140mmHg以上、または拡張期90mmHg以上
■脂質リスク（脂質異常症のリスク保有者）：中性脂肪300mg/dl以上、またはHDLコレステロール35mg/dl未満

生活習慣リスク 被保険者男女別（2021-2022年度）



年齢	2021年度					2022年度				
	非喫煙	適切な運動習慣	適切な食事習慣	適切な飲酒	適切な睡眠	非喫煙	適切な運動習慣	適切な食事習慣	適切な飲酒	適切な睡眠
男性	67.0%	32.6%	48.6%	88.2%	67.0%	68.3%	34.9%	50.0%	88.0%	64.5%
40-49	63.0%	31.2%	43.3%	89.3%	65.1%	64.7%	35.7%	44.8%	89.1%	63.7%
50-59	68.3%	31.7%	50.4%	88.4%	66.3%	69.2%	31.6%	51.5%	87.1%	62.0%
60-69	76.7%	40.0%	61.5%	83.8%	75.9%	77.4%	42.6%	62.1%	87.6%	75.6%
女性	85.7%	19.2%	58.5%	96.8%	59.2%	85.3%	19.7%	56.7%	97.3%	59.2%
40-49	84.2%	18.5%	56.2%	96.8%	63.5%	84.3%	17.1%	54.4%	97.2%	58.7%
50-59	87.3%	18.7%	60.0%	96.3%	56.7%	86.9%	22.1%	57.6%	97.5%	62.3%
60-69	87.2%	24.4%	64.1%	98.7%	47.4%	82.5%	21.1%	64.9%	96.5%	45.6%

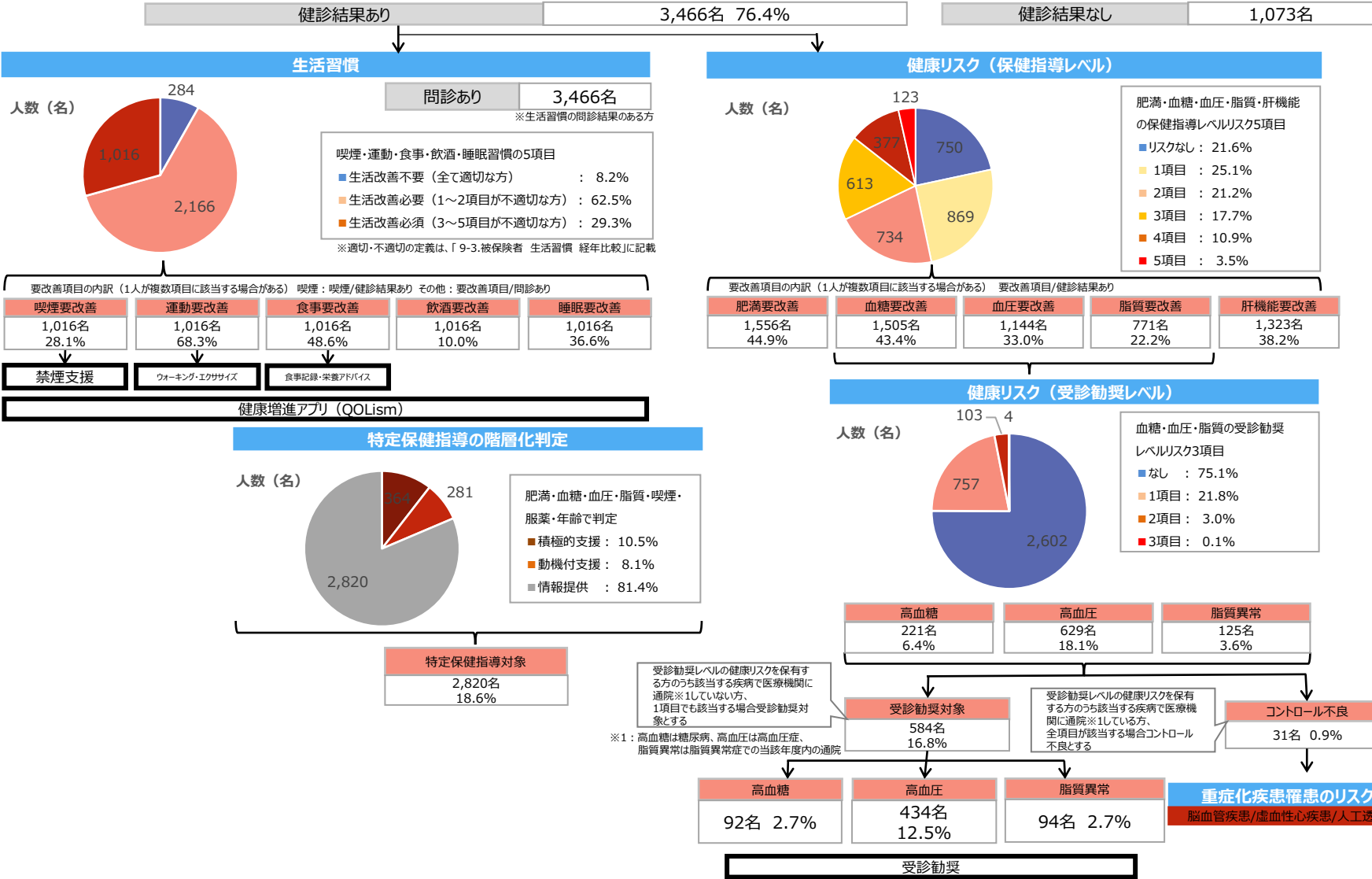
＜適正な生活習慣を有する者の判定基準＞

- 1.喫煙：問診「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「いいえ」と回答した者
- 2.適切な運動：運動習慣に関する3つの問診項目（2つ以上が適切）
①「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施」の回答が「はい」 ②「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」の回答が「はい」
③「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」の回答が「はい」
- 3.適切な食事：食事習慣に関する4つの問診項目（3つ以上が適切）
①「人と比較して食べる速度が速い」の回答が「ふつう」または「遅い」 ②「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」の回答が「いいえ」
③「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか」の回答が「ほとんど摂取しない」 ④「朝食を抜くことが週に3回以上ある」の回答が「いいえ」
- 4.適切な飲酒：「多量飲酒群」（①または②）に該当しない者 ①飲酒頻度が「毎日」で1日あたり飲酒量が2合以上の者 ②飲酒頻度が「時々」で1日あたり飲酒量が3合以上の者
- 5.適切な睡眠：問診「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者

※青字は前年比改善・赤字は悪化
※男性、女性は40歳以上の合計となる、70歳代は人数が少ないため表示していない

リスクフローチャート（2022年度）

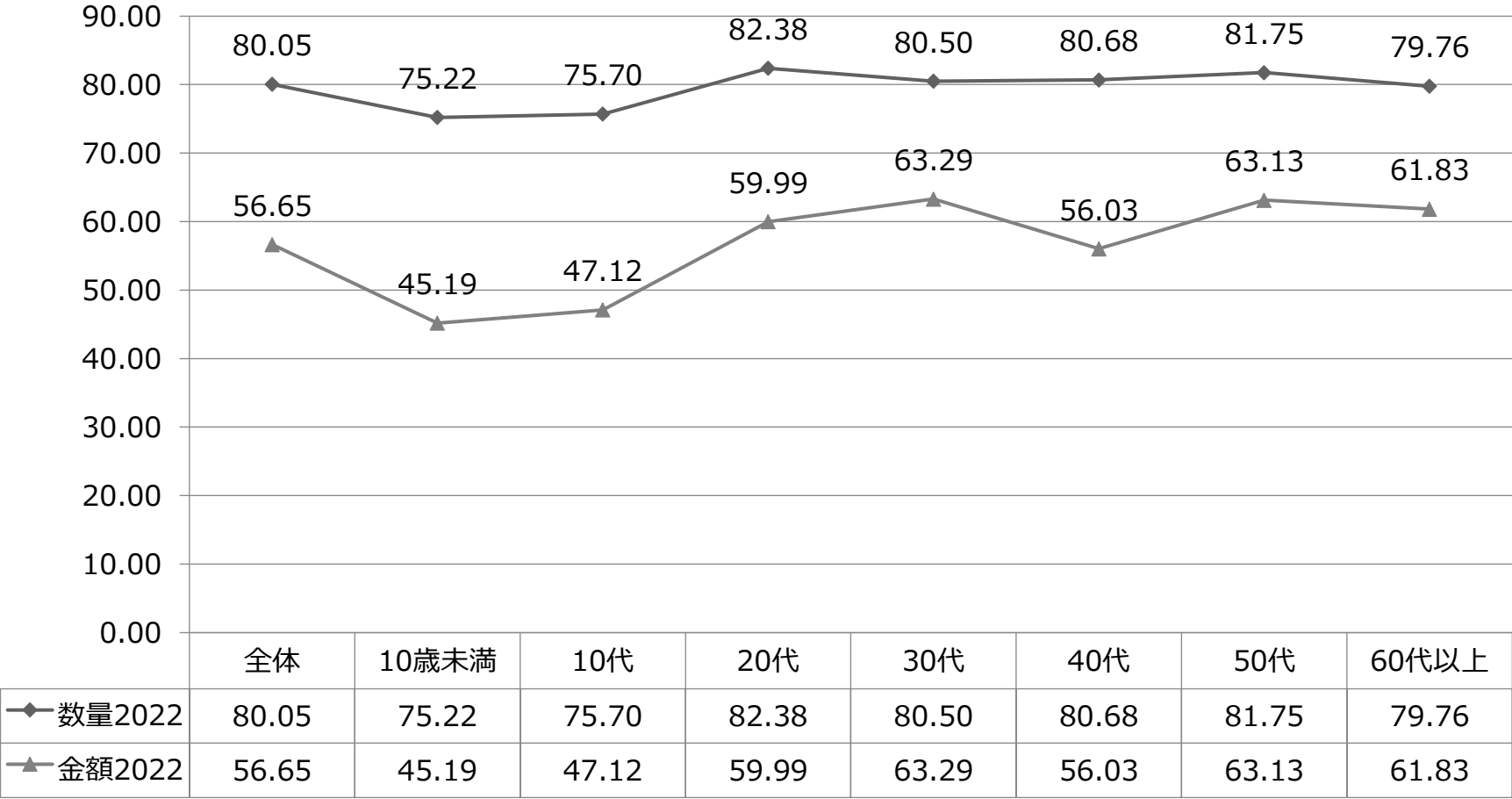
被保険者（40歳以上）



ジェネリック利用状況（2022年度）

加入者全体

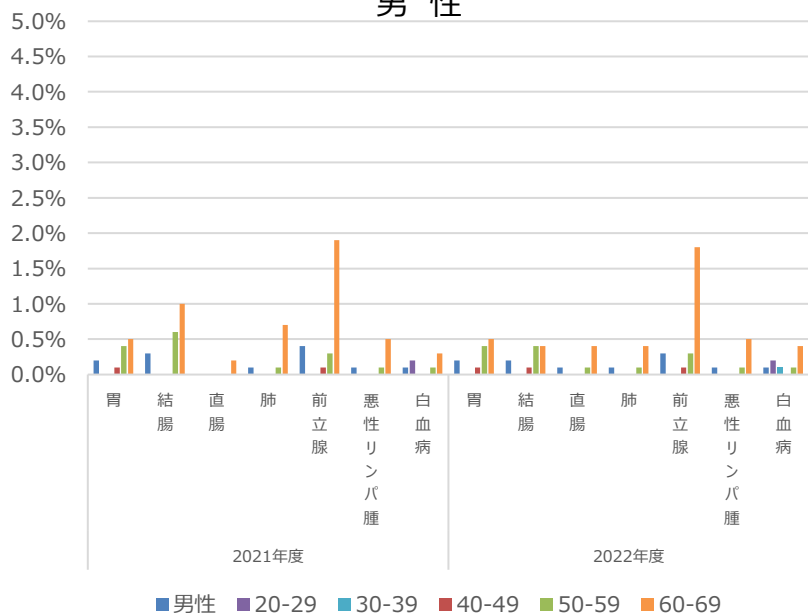
(単位：%)



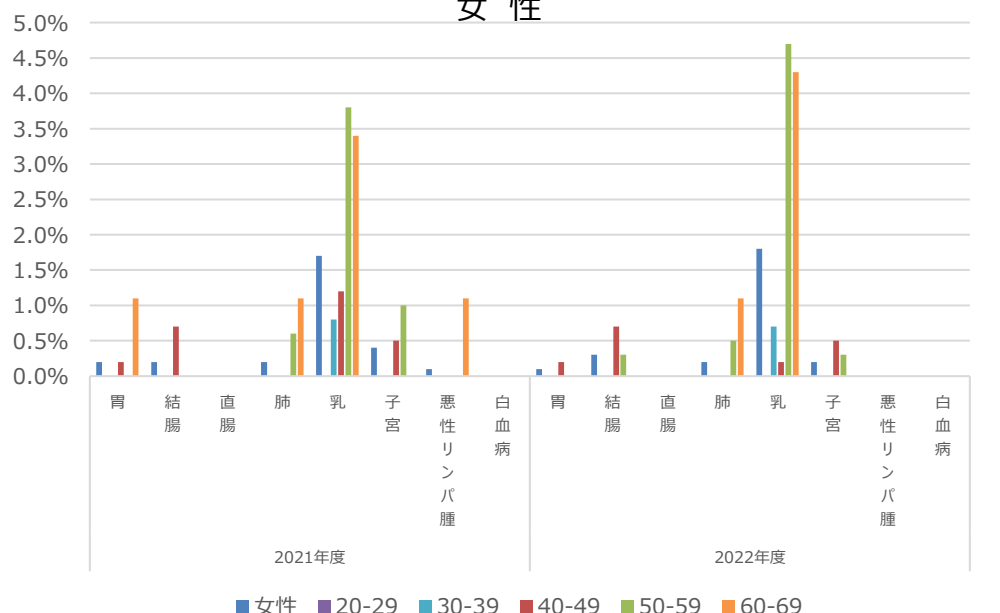
がんの保有率（2021-2022年度）

被保険者 ※がんの保有率：がんのうち主要な部位として 胃、大腸（結腸、直腸）、肺、前立腺、悪性リンパ腫、白血病 について、当該年度内に通院している方の割合（1回以上）

男 性



女 性



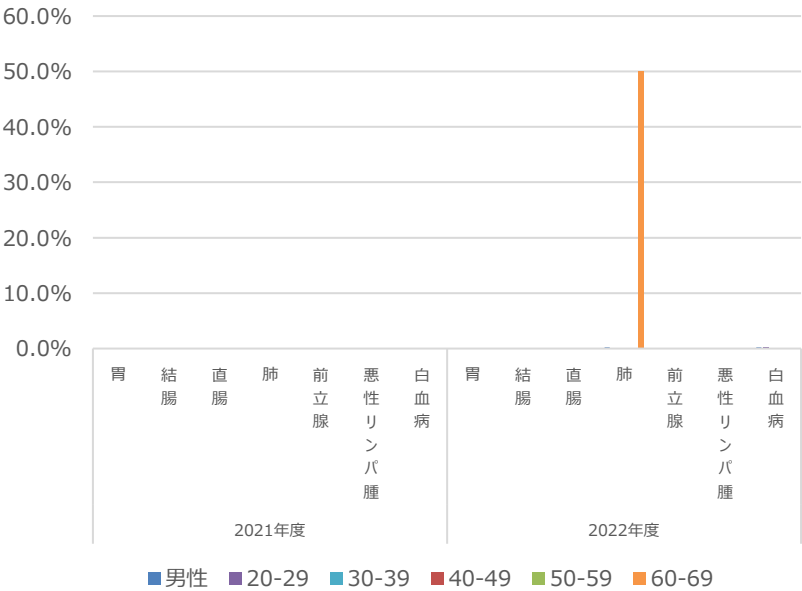
年齢（歳）	2021年度									2022年度								
	胃	結腸	直腸	肺	乳	子宮	前立腺	悪性リンパ腫	白血病	胃	結腸	直腸	肺	乳	子宮	前立腺	悪性リンパ腫	白血病
男性	0.2%	0.3%	0.0%	0.1%			0.4%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%			0.3%	0.1%	0.1%
20-29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.2%
30-39	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.1%
40-49	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%			0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%			0.1%	0.0%	0.0%
50-59	0.4%	0.6%	0.0%	0.1%			0.3%	0.1%	0.1%	0.4%	0.4%	0.1%	0.1%			0.3%	0.1%	0.1%
60-69	0.5%	1.0%	0.2%	0.7%			1.9%	0.5%	0.3%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%			1.8%	0.5%	0.4%
女性	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	1.7%	0.4%		0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%	0.2%	1.8%	0.2%		0.0%	0.0%
20-29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%
30-39	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%		0.0%	0.0%
40-49	0.2%	0.7%	0.0%	0.0%	1.2%	0.5%		0.0%	0.0%	0.2%	0.7%	0.0%	0.0%	0.2%	0.5%		0.0%	0.0%
50-59	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	3.8%	1.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.5%	4.7%	0.3%		0.0%	0.0%
60-69	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	3.4%	0.0%		1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	4.3%	0.0%		0.0%	0.0%

※青字は前年比改善・赤字は悪化
※男性、女性は20歳以上の合計となる、70歳代は人数が少ないため表示していない

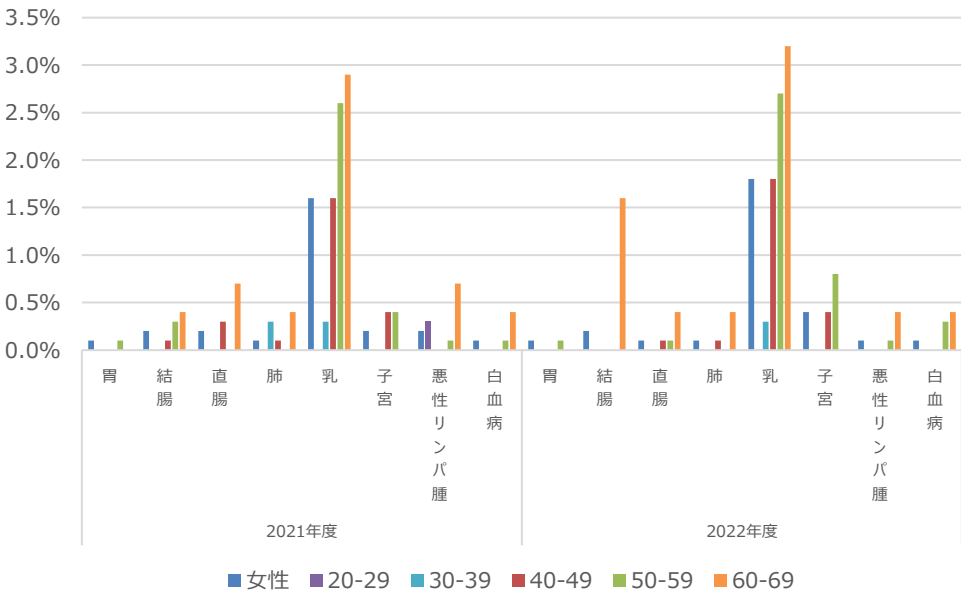
がんの保有率（2021-2022年度）

被扶養者 ※がんの保有率：がんのうち主要な部位として 胃、大腸（結腸、直腸）、肺、前立腺、悪性リンパ腫、白血病 について、当該年度内に通院している方の割合（1回以上）

男 性



女 性



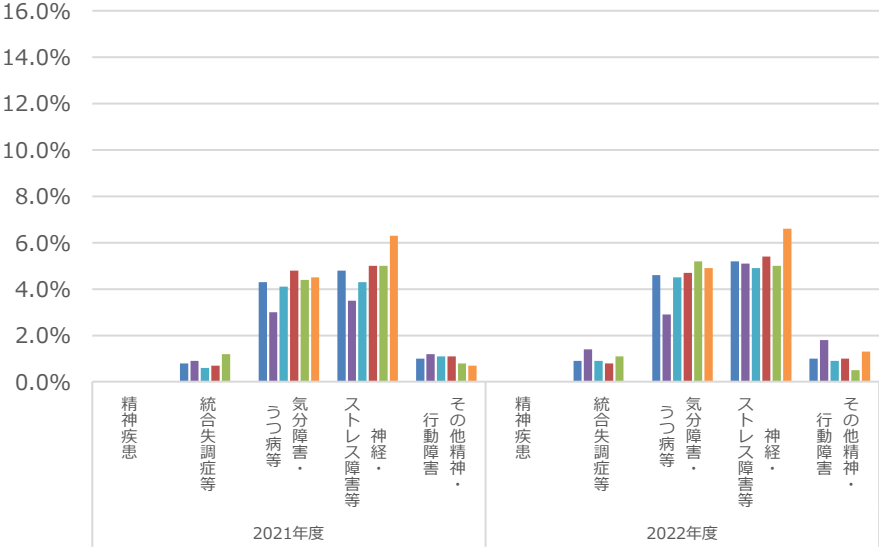
年齢（歳）	2021年度									2022年度								
	胃	結腸	直腸	肺	乳	子宮	前立腺	悪性リンパ腫	白血病	胃	結腸	直腸	肺	乳	子宮	前立腺	悪性リンパ腫	白血病
男性	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%			0.0%	0.0%	0.2%
20-29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.2%
30-39	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%
40-49	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%
50-59	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%
60-69	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%			0.0%	0.0%	0.0%
女性	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	1.6%	0.2%		0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	1.8%	0.4%		0.1%	0.1%
20-29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%
30-39	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%		0.0%	0.0%
40-49	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%	1.6%	0.4%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.8%	0.4%			0.0%	0.0%
50-59	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	2.6%	0.4%		0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	2.7%	0.8%			0.1%	0.3%
60-69	0.0%	0.4%	0.7%	0.4%	2.9%	0.0%		0.7%	0.4%	0.0%	1.6%	0.4%	0.4%	3.2%	0.0%		0.4%	0.4%

※青字は前年比改善・赤字は悪化
※男性、女性は20歳以上の合計となる、70歳代は人数が少ないため表示していない

精神疾患の保有率（2021-2022年度）

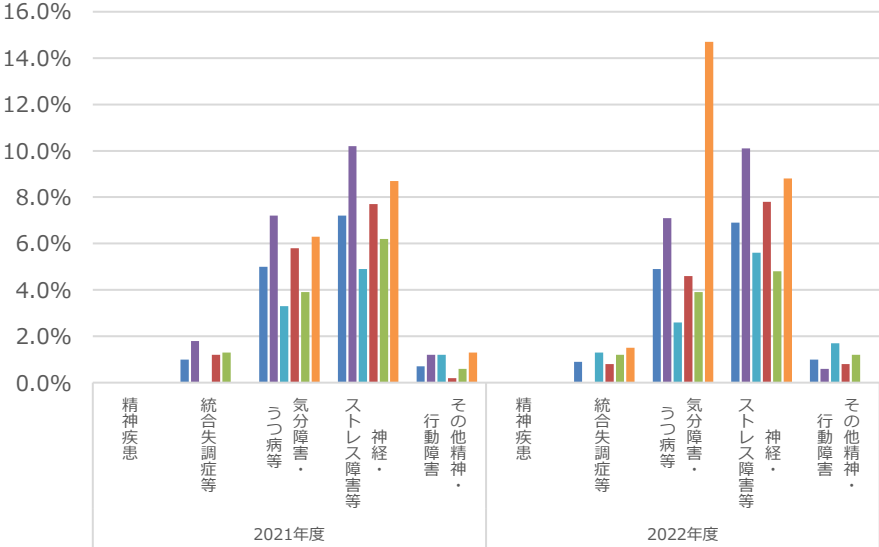
被保険者

男 性



■ 男性 ■ 20-29 ■ 30-39 ■ 40-49 ■ 50-59 ■ 60-69

女 性



■ 女性 ■ 20-29 ■ 30-39 ■ 40-49 ■ 50-59 ■ 60-69

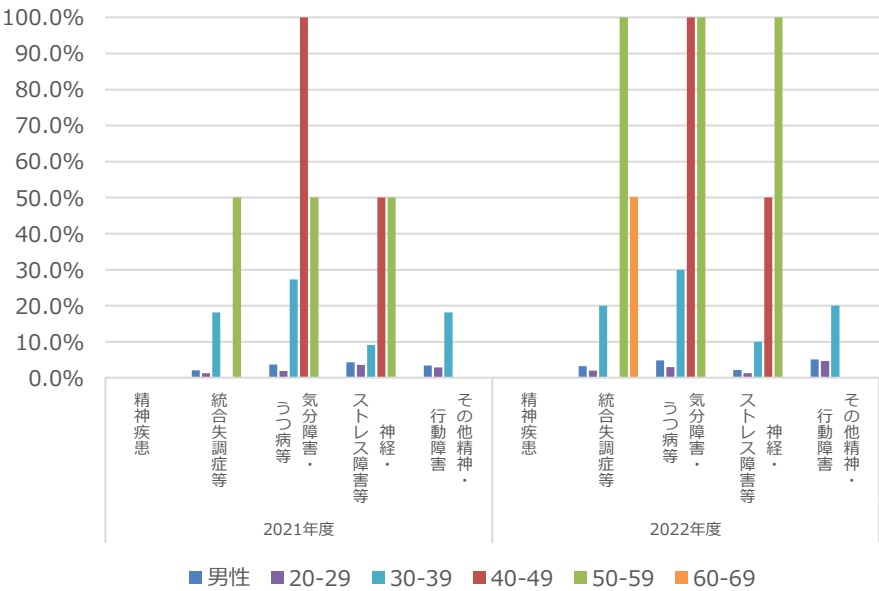
年齢（歳）								
	統合失調症等	気分障害・うつ病等	神経・ストレス障害等	その他精神・行動障害	統合失調症等	気分障害・うつ病等	神経・ストレス障害等	その他精神・行動障害
男性	0.8%	4.3%	4.8%	1.0%	0.9%	4.6%	5.2%	1.0%
20-29	0.9%	3.0%	3.5%	1.2%	1.4%	2.9%	5.1%	1.8%
30-39	0.6%	4.1%	4.3%	1.1%	0.9%	4.5%	4.9%	0.9%
40-49	0.7%	4.8%	5.0%	1.1%	0.8%	4.7%	5.4%	1.0%
50-59	1.2%	4.4%	5.0%	0.8%	1.1%	5.2%	5.0%	0.5%
60-69	0.0%	4.5%	6.3%	0.7%	0.0%	4.9%	6.6%	1.3%
女性	1.0%	5.0%	7.2%	0.7%	0.9%	4.9%	6.9%	1.0%
20-29	1.8%	7.2%	10.2%	1.2%	0.0%	7.1%	10.1%	0.6%
30-39	0.0%	3.3%	4.9%	1.2%	1.3%	2.6%	5.6%	1.7%
40-49	1.2%	5.8%	7.7%	0.2%	0.8%	4.6%	7.8%	0.8%
50-59	1.3%	3.9%	6.2%	0.6%	1.2%	3.9%	4.8%	1.2%
60-69	0.0%	6.3%	8.7%	1.3%	1.5%	14.7%	8.8%	0.0%

※ 青字は前年比改善・赤字は悪化
※ 男性、女性は20歳以上の合計となる、70歳代は人数が少ないため表示していない

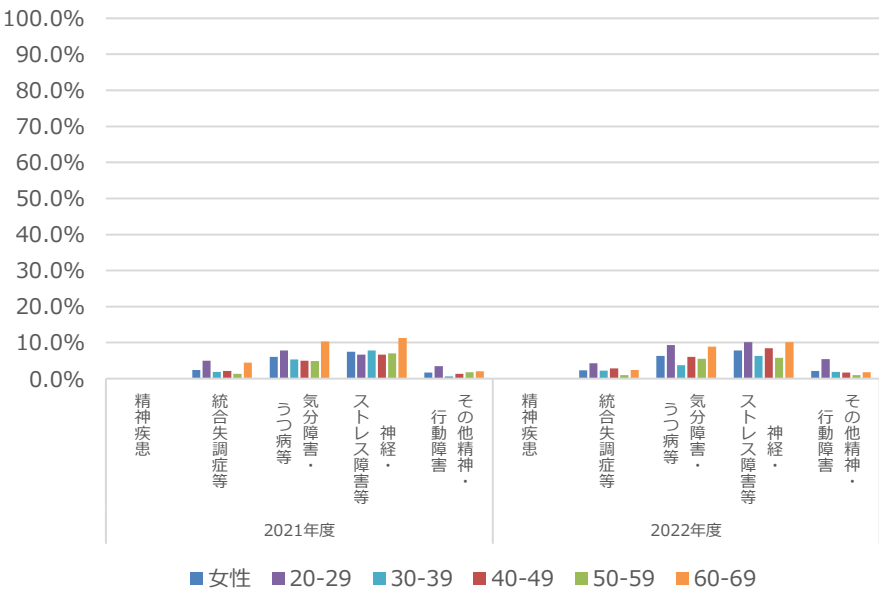
精神疾患の保有率（2021-2022年度）

被扶養者

男 性



女 性



年齢（歳）	2021年度				2022年度			
	統合失調症等	気分障害・うつ病等	神経・ストレス障害等	その他精神・行動障害	統合失調症等	気分障害・うつ病等	神経・ストレス障害等	その他精神・行動障害
男性	2.1%	3.7%	4.3%	3.4%	3.2%	4.8%	2.2%	5.1%
20-29	1.3%	1.9%	3.6%	2.9%	2.0%	3.0%	1.3%	4.7%
30-39	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%	20.0%	30.0%	10.0%	20.0%
40-49	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%
50-59	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
60-69	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性	2.4%	6.0%	7.5%	1.7%	2.3%	6.3%	7.8%	2.1%
20-29	5.0%	7.8%	6.7%	3.5%	4.3%	9.3%	10.1%	5.4%
30-39	1.9%	5.3%	7.8%	0.6%	2.2%	3.7%	6.3%	1.9%
40-49	2.1%	5.0%	6.7%	1.3%	2.8%	6.0%	8.4%	1.7%
50-59	1.3%	4.9%	7.0%	1.8%	1.0%	5.5%	5.8%	1.0%
60-69	4.4%	10.3%	11.3%	2.0%	2.4%	8.9%	10.1%	1.8%

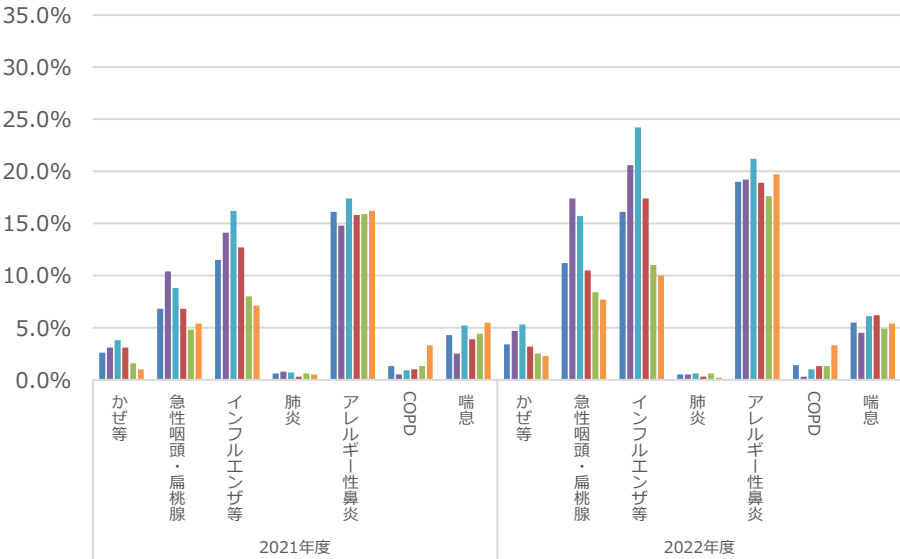
※ 青字は前年比改善・赤字は悪化
※ 男性、女性は20歳以上の合計となる、70歳代は人数が少ないため表示していない

呼吸器の保有率（2021-2022年度）

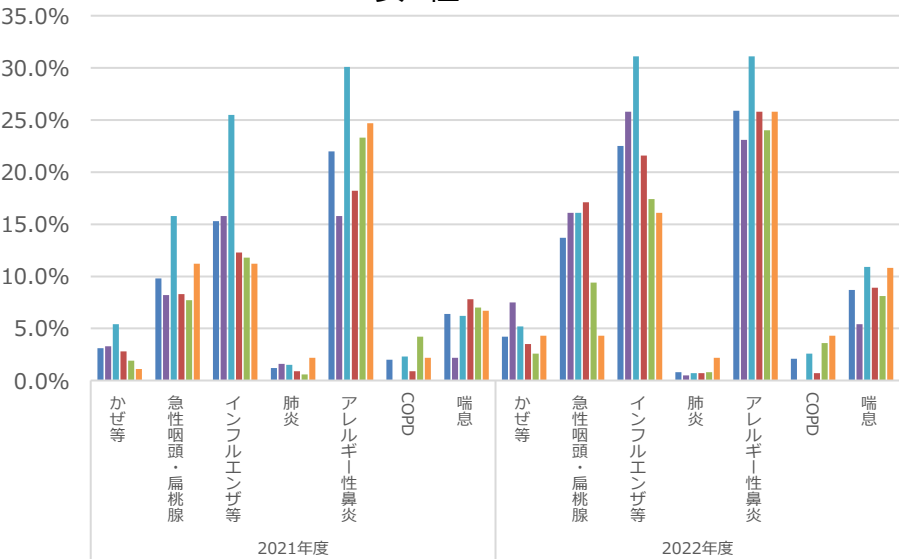
被保険者

※呼吸器疾患保有率：以下の疾病で当該年度内に通院している方の割合（1回以上）

男 性



女 性



■男性 ■20-29 ■30-39 ■40-49 ■50-59 ■60-69

■女性 ■20-29 ■30-39 ■40-49 ■50-59 ■60-69

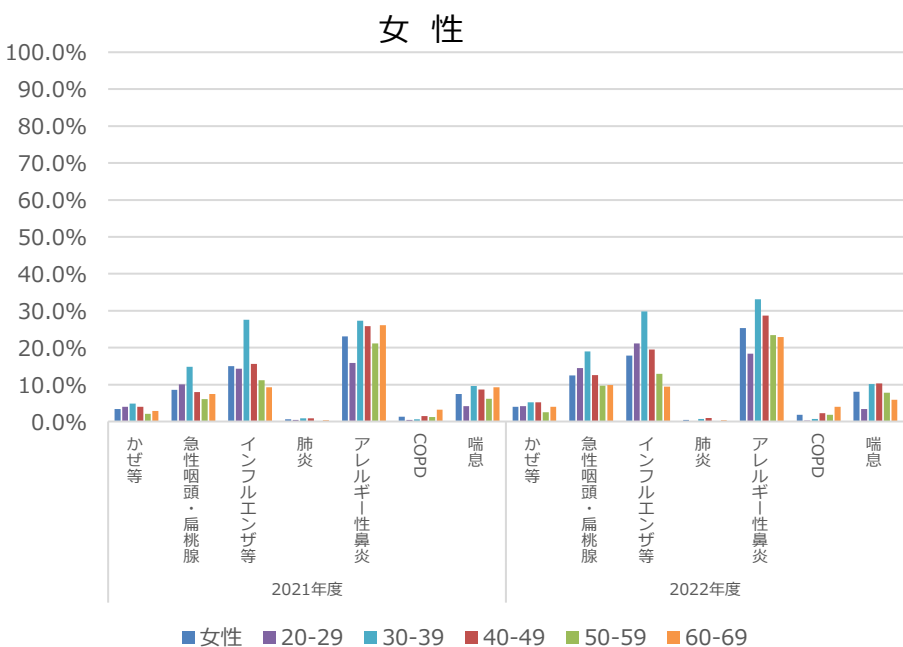
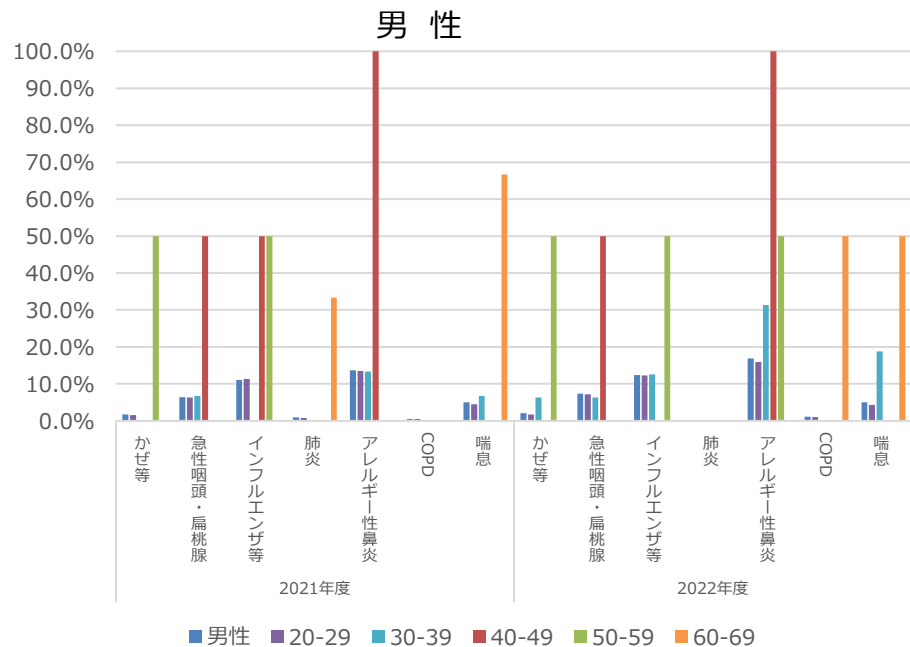
年齢（歳）	2021年度							2022年度						
	※かぜ等	急性咽頭・扁桃炎	※インフルエンザ等	肺炎	アレルギー性鼻炎	※COPD	喘息	※かぜ等	急性咽頭・扁桃炎	※インフルエンザ等	肺炎	アレルギー性鼻炎	※COPD	喘息
男性	2.6%	6.8%	11.5%	0.6%	16.1%	1.3%	4.3%	3.4%	11.2%	16.1%	0.5%	19.0%	1.4%	5.5%
20-29	3.1%	10.4%	14.1%	0.8%	14.8%	0.5%	2.5%	4.7%	17.4%	20.6%	0.5%	19.2%	0.3%	4.5%
30-39	3.8%	8.8%	16.2%	0.7%	17.4%	0.9%	5.2%	5.3%	15.7%	24.2%	0.6%	21.2%	1.0%	6.1%
40-49	3.1%	6.8%	12.7%	0.3%	15.8%	1.0%	3.9%	3.2%	10.5%	17.4%	0.3%	18.9%	1.3%	6.2%
50-59	1.6%	4.8%	8.0%	0.6%	15.9%	1.3%	4.4%	2.5%	8.4%	11.0%	0.6%	17.6%	1.3%	4.9%
60-69	1.0%	5.4%	7.1%	0.5%	16.2%	3.3%	5.5%	2.3%	7.7%	10.0%	0.2%	19.7%	3.3%	5.4%
女性	3.1%	9.8%	15.3%	1.2%	22.0%	2.0%	6.4%	4.2%	13.7%	22.5%	0.8%	25.9%	2.1%	8.7%
20-29	3.3%	8.2%	15.8%	1.6%	15.8%	0.0%	2.2%	7.5%	16.1%	25.8%	0.5%	23.1%	0.0%	5.4%
30-39	5.4%	15.8%	25.5%	1.5%	30.1%	2.3%	6.2%	5.2%	16.1%	31.1%	0.7%	31.1%	2.6%	10.9%
40-49	2.8%	8.3%	12.3%	0.9%	18.2%	0.9%	7.8%	3.5%	17.1%	21.6%	0.7%	25.8%	0.7%	8.9%
50-59	1.9%	7.7%	11.8%	0.6%	23.3%	4.2%	7.0%	2.6%	9.4%	17.4%	0.8%	24.0%	3.6%	8.1%
60-69	1.1%	11.2%	11.2%	2.2%	24.7%	2.2%	6.7%	4.3%	4.3%	16.1%	2.2%	25.8%	4.3%	10.8%

※かぜ等：急性鼻咽頭炎 ※インフルエンザ等：その他の急性上気道感染症 ※COPD（慢性閉塞性肺疾患）

※青字は前年比改善・赤字は悪化
※男性、女性は20歳以上の合計となる、70歳代は人数が少ないため表示していない

呼吸器の保有率（2021-2022年度）

被扶養者



年齢（歳）	2021年度							2022年度						
	※かぜ等	急性咽頭・扁桃炎	※インフルエンザ等	肺炎	アレルギー性鼻炎	※COPD	喘息	※かぜ等	急性咽頭・扁桃炎	※インフルエンザ等	肺炎	アレルギー性鼻炎	※COPD	喘息
男性	1.7%	6.4%	11.1%	0.9%	13.7%	0.5%	5.0%	2.1%	7.3%	12.4%	0.0%	16.9%	1.1%	5.0%
20-29	1.5%	6.3%	11.3%	0.8%	13.5%	0.5%	4.5%	1.7%	7.2%	12.3%	0.0%	15.9%	1.0%	4.3%
30-39	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	31.3%	0.0%	18.8%
40-49	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
50-59	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
60-69	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
女性	3.4%	8.6%	15.0%	0.6%	23.1%	1.3%	7.5%	4.0%	12.5%	17.9%	0.5%	25.3%	1.8%	8.1%
20-29	4.0%	10.1%	14.3%	0.5%	15.9%	0.5%	4.2%	4.2%	14.5%	21.2%	0.0%	18.4%	0.3%	3.4%
30-39	4.9%	14.8%	27.6%	0.9%	27.3%	0.6%	9.6%	5.2%	19.0%	29.8%	0.7%	33.1%	0.7%	10.2%
40-49	4.0%	8.0%	15.6%	0.9%	25.8%	1.5%	8.7%	5.2%	12.6%	19.5%	1.0%	28.7%	2.3%	10.3%
50-59	2.1%	6.1%	11.2%	0.1%	21.2%	1.2%	6.2%	2.5%	9.7%	12.9%	0.1%	23.4%	1.8%	7.8%
60-69	2.9%	7.5%	9.3%	0.4%	26.1%	3.2%	9.3%	4.0%	9.9%	9.5%	0.4%	22.9%	4.0%	5.9%

※かぜ等：急性鼻咽頭炎 ※インフルエンザ等：その他の急性上気道感染症 ※COPD（慢性閉塞性肺疾患）

※呼吸器疾患保有率：以下の疾病で当該年度内に通院している方の割合（1回以上）

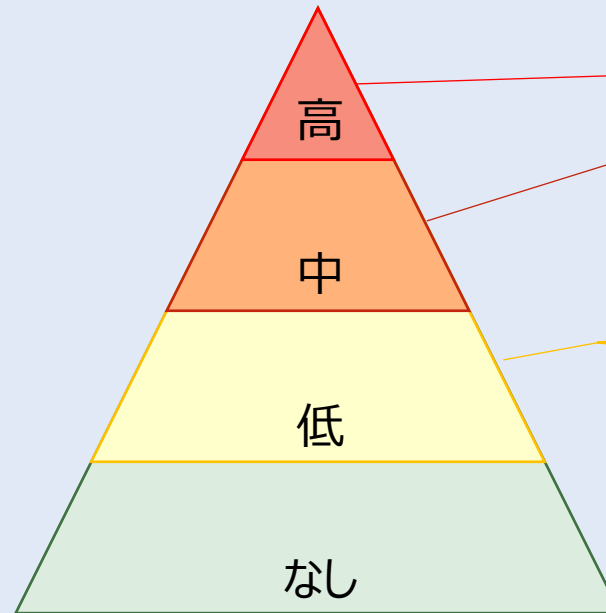
※青字は前年比改善・赤字は悪化

※男性、女性は20歳以上の合計となる、70歳代は人数が少ないため表示していない

コラボヘルス（事業所との連携）

コラボヘルス（事業主との連携）

保有する健康リスク



全員

その他（医療費適正化）

家庭用常備薬斡旋

ジェネリック利用促進

医療費通知

一次予防（情報提供・広報）

個別的情報提供（KW21-Connect）

一次予防（栄養・運動）

運動対策（歩数イベント）

食事に関する健康づくり

一次予防（喫煙対策）

禁煙対策（禁煙プロジェクト）

一次予防（健康相談）

メンタルヘルス対策

一次予防（呼吸器対策）

インフルエンザ予防接種

二（三）次予防（受診勧奨・重症化予防）

重症化予防プログラム（糖尿病性腎症）

受診勧奨（被扶養者）

二次予防（特定健診・特定保健指導）

特定健康診査

特定保健指導

二次予防（がん検診・歯科健診）

家族健診

任意継続者健診（前期高齢者対策）

人間ドック・脳ドック

歯科健診・歯科保健指導の実施

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	<加入者分析（2022年度）> - 加入者のうち、人数が多い（ボリュームゾーン）は①男性被保険者の50～54歳と女性被扶養者の50～54歳である。 - 今後、当健保の加入者は40歳代・50歳代前半が高齢化するとともに、新たに40歳になる層は少ないため、全体的に高齢化が進むことが想定される。	➡	<加入者の高齢化への対応> - 現在の50歳以上の層には、すでに生活習慣病が重症化や、がん疾患罹患者が存在し、疾病リスクが高まることから重症化予防事業やがん対策を講じる必要がある。 - 現在の若年層は、将来的な特定保健指導の対象者になる可能性があることから、若年層対策（情報提供等）を実施し、早期の生活習慣改善を促す。	
2	イ	<医療費分析（2019～2022年度）>※被保険者 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の一人当たり医療費は減少しているが、2019→2022年度は増加している。 - 一人当たり医療費（2022年度）は約158,563円である。 - 加齢に伴い医療費は増加するが、特に40歳代後半になると増加する。	➡	<疾病予防の推進> - 当健保の一人当たり医療費は年々増加傾向であり、今後も適切な治療を継続して早期に受けていただくとともに、医療費通知等により適正な医療費のかかり方を見つめ直す機会を与え、今後の高齢化の中でも健康で、活き活きと暮らせる環境を提供する。 - 被保険者男性・女性の人数ボリュームゾーンが40-50代であることから高額医療費の発生は避けられない状況であるが、その中でも予防可能な疾病については積極的に予防対策に取り組んでいく。	
3	ウ	<疾病別医療費分析（2022年度）> 【疾病大分類】 - 総医療費が高額なのは新生物、循環器、消化器疾患である。また、レセプト1件当たり医療費が高額なのは先天奇形、新生物、妊娠である。 - 最も着目する疾病は、被保険者では新生物・循環器疾患、被扶養者では呼吸器疾患である。	➡	<生活習慣病対策> - 主に循環器疾患に注視し、医療機関受診勧奨等の脳卒中、虚血性心疾患の対策を講じる。 - 一人当たり医療費が高額になる腎尿路疾患（糖尿病性腎症からの人工透析）の予防に取り組んでいく。 <がん対策> - がん検診を継続実施及び要精密検査の方への受診勧奨を実施し、各種がんの早期発見・早期治療によるQOL（患者の生活）向上に取り組む。 - 事業主と連携し、費用補助強化など検討し、がん対策による治療と仕事の両立に貢献する。	
4	エ	<高額医療費分析（2022年度）> - 被保険者の人工透析導入者数は8名である。 - 総医療費のうち、高額医療費の方（年間医療費の上位2%）が約36%の医療費を要している。 - 高額医療費の方が保有する疾病は主に①生活習慣病の重症化疾患（人工透析・脳血管・虚血性心疾患） ②新生物 ③その他（妊娠に伴う疾病や難病など）である。	➡	<疾病予防対策> 高額医療費を要する疾病のうち、主に生活習慣病の重症化疾患、がん（がん検診で発見可能な部位に限る）の疾病予防対策に取り組む。（なお、その他の疾病については、健保の保健事業で予防することは困難であるとする）	✓

5	オ	<特定健診分析（2022年度）> ・被保険者は定期健診と共同実施しており、受診率は97.7%と高水準である。 ※全健保平均92.6%（2021年度） ・被扶養者は家族健診等を実施しており、受診率は72.8%であり、2019～2021年度にかけて年々増加している。 ※全健保平均47.9%（2021年度）	➡	<特定健診受診率向上対策> ・被保険者は全事業主からの確実なデータ受領を継続実施していく。その際に、受領もれないような確認を実施する。 ・被扶養者の実施率維持向上を目指し、居住地域への巡回健診実施および全国規模の健診代行業者の活用を継続するとともに、さらなる周知（受診のメリットや安価であること、受けやすさ等）を強化する。	
6	カ	<特定保健指導分析（2022年度）> ・被保険者の実施率は34.1%（全健保平均32.4%（2021年度））にとどまっており、特保該当者率は19.1%（全健保平均20.5%（2021年度））であり、2019～2021年度にかけて年々減少している。 ・被扶養者の実施率は13.3%（全健保平均16.0%（2021年度））にとどまっており、特保該当者率は9.1%（全健保平均8.4%（2021年度））と、被扶養者に対する受診率向上が課題となる。	➡	<特定保健指導実施率向上対策> ・被保険者は健保と事業主（人事・総務）、委託事業者が連携し、事業所説明会等により特定保健指導の協力を依頼し、特定保健指導実施率向上に向けて対策を強化していく。 ・被扶養者の受診率向上に向け、周知活動の強化（被保険者を経由したアプローチ方法など）を検討する。	✓
7	キ	<健康リスク分析（2022年度）> ※被保険者の40歳以上 ・健康リスクは基本的に男性が高く、加齢とともに上昇し、また、40歳代時点でも一定の保有者が存在する。 ・2021年度と比較して被保険者の男女ともに特に「血圧リスク（受診勧奨レベル）」は悪化傾向となる。	➡	<健康リスク対策> ・当健保が実施する生活習慣病対策（禁煙対策やウォーキングイベント等）により、各健康リスク下げる。 ・特定保健指導を基本とし、重症化予防、受診勧奨、若年層対策を組み合わせたアプローチを継続する。 ・なお、広報や事業所と連携した健康増進プログラムなどのポピュレーションアプローチも組み合わせる。	✓
8	ク	<生活習慣・改善意識分析（2022年度）> ※被保険者の40歳以上 ・被保険者男性の喫煙率は3割前後であり、禁煙対策の推進が重要です。また、女性の適切な運動習慣率が約20-30%と低く、積極的なウォーキングイベントの家族参加型参加啓発など、運動習慣対策が必要です。	➡	<生活習慣病対策> ・生活習慣病対策（禁煙・運動・食事、メンタルヘルス等の健康づくり等）により、各生活習慣病リスク改善する。 ・特に、生活習慣を改善する機会を幅広く提供するため、ポピュレーションアプローチを実施する。	✓
9	ケ	<高リスク分析（2022年度）>※被保険者の40歳以上 ・医療機関受診勧奨レベルの健康リスクを保有し、医療機関を受診していない方が584名（全体の16.8%）、医療機関を受診しているがコントロール不良の方が31名（0.9%）おり、更なる受診勧奨の強化が必要。	➡	<医療機関受診勧奨対策> ・受診勧奨レベルの健康リスクを保有しているにもかかわらず、医療機関にかかっていない者・ハイリスク者に対する受診勧奨の強化を行う。 <喫煙対策> ・高リスク保有者ほど喫煙率が高い等の要因から、今後も継続して禁煙対策を実施する。	✓
10	コ	<ジェネリック分析（2022年度）> ・2022年度（年間）のジェネリック利用率は数量ベースで81.8%であり、全国の平均（79.94%）を若干上回る。（国の公表値）	➡	<ジェネリック利用促進> ・定期的な差額通知の更新（対象範囲の見直しを含む） ・定期的なジェネリック利用希望シールの配布を継続するとともに、削減余地が大きい医薬品は、軟膏や花粉症、湿布など日常でよく使われる医薬品であるため、今後、医薬品に関する広報も実施検討する。	✓

11	サ	<新生物（2019-2022年度）> ・2019年度以降の新生物の総医療費は高水準で推移している。 ・被保険者・被扶養者の女性で乳がんの医療費・保有率が高水準で経年推移している。 ・被保険者の男性で2021年度と比較し、直腸がんの保有率が悪化している。	➡	<がん対策> ・事業主と連携し、がん検診を継続実施及び要精密検査者への受診勧奨を強化し、各種がんの早期発見・早期治療によるQOL（患者の生活）向上に取り組む。	✓
12	シ	<精神疾患（2019-2022年度）> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の精神疾患の総医療費は上がっているが、2021年度・2022年度とともに減少傾向となっている。 ・特に神経・ストレス障害の保有率が20代の若年層世代から高い。また、2021年度と比較し、統合失調症、うつ病・気分障害、神経・ストレス障害の保有率は増加傾向にある。	➡	<メンタルヘルス対策> ・事業主との連携を強化し、相談しやすい環境を整備する。 ・メンタル講座（オンライン）を継続実施し、セルフケア・ラインケアの意識及びリテラシー向上に取り組む。	
13	ス	<呼吸器（2019-2022年度）> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の呼吸器系疾患の総医療費が下がっているが、2021年度・2022年度とともに増加傾向となっている。 ・被保険者の男女とも肺炎を除き呼吸器の保有率が全体的に増加している。	➡	<呼吸器対策> ・医療費削減のため、市販薬で治療可能な疾患についてはセルフメディケーションの利用を進め、広報活動を強化する。 ・インフルエンザ感染者の減少のため、予防接種の費用補助を継続実施する。	
14	セ	<サマリー> ・当健保では、第3期データヘルス計画においてさらに効果的・効率的な保健事業を実施していくため、事業所と健康問題を共有化し、保健事業への事業所の協力を得ながら進めていく。	➡	<コラボヘルス> ・左記対策のため、以下を重点テーマとする。 ①：被扶養者の特定健診及び特定保健指導の受診率を向上させる ②：重症化予防事業により、実施者から新規人工透析導入者を出さない ③：事業所ごとの情報提供を進め、生活習慣改善と健康意識の課題を共有する ④：広報等を積極的に進め、生活習慣改善と健康意識向上に資する ⑤：ジェネリック医薬品の利用率を向上させる	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	【業種】金属工業の単一健保 フジクラおよびグループ会社は、全国（東京・千葉・静岡・三重・秋田・大分・熊本など）に拠点が存在する	➡	勤務場所が全国に点在しており、職種の特性も異なるため、事業主との協働を強化し、全国をカバーする保健事業が重要となる。
2	【加入者構成】 2022年度 被保険者は男女比8:2で、男女とも40歳台後半から50歳台前半が多い。	➡	疾病リスクが高く、1人あたりの医療費が大きくなる年齢層（40歳台）の人数が多いため、5～10年後の医療費が増大するリスクの可能性があることから中長期的な対策検討が必要である。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
-----	----	--	--------------

1	<<特定健診・特定保健指導>> 2022年度時点 加入者全体の特定健診実施率は90.4%、特定保健指導実施率は38.0%であるが、被扶養者の特定健診受診率は69.5%、特定保健指導実施率は5.6%と低く、健康状態の把握が十分ではない。	➡	・扶養者の実施率向上を目指し、周知強化及び実施体制の見直しを実施する。 ・特定の被扶養者（経営職の配偶者等）に対する事業主を経由したアプローチなど、実施率向上に向けた施策を継続して検討する。
---	---	---	--

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

フジクラグループ健康宣言に基づき事業主と強ちに連携し、加入者（従業員と家族の意）の健康増進に取り組む組織的な支援と専門職の活用を重視し、長期的な視点を持ち健康増進に取り組む。

①加入者の健康増進

②医療費の適正化（健保財政の安定化）

③事業主の健康経営支援

事業全体の目標

【健康増進の目標】

①加入者の健康意識の向上（行動変容を目指す）

②加入者の生活習慣の改善（具体的な食事、運動等の改善を目指す）

③加入者の健康リスクの低下（生活習慣病リスクの低下を目指す）

【医療費適正化の目標】

①重症化予防、特定保健指導推進による生活習慣病医療費の適正化

②ジェネリック利用促進による調剤医療費の適正化

③がんの早期発見・早期治療による医療費の適正化（長期的な課題）

【健康経営支援の目標】

①定期的なコラボヘルス推進会議等による事業主との連携強化

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	コラボヘルス（事業主との情報共有会議）
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	個別的信息提供（ケンボマイポータル）
保健指導宣伝	医療費通知
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ジェネリック利用促進
疾病予防	重症化予防プログラム（糖尿病性腎症）
疾病予防	家族健診
疾病予防	任意継続者健診（前期高齢者対策）
疾病予防	人間ドック補助
疾病予防	脳ドック補助
疾病予防	がん健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	メンタルヘルス対策
疾病予防	食事に関する健康づくり
疾病予防	運動対策（歩数イベント）
予算措置なし	家庭用常備薬斡旋
予算措置なし	歯科健診・歯科保健指導 の実施
予算措置なし	禁煙対策（禁煙プロジェクト）

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標													アウトカム指標								
予算措置なし	1	既存	コラポヘルス（事業主との情報共有会議）	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	・コラポヘルス推進会議（毎月開催） フジクラ本社、専門職（産業医・保健師）、健康保険組合が参加	ア,イ	・事業主及び産業医との連携（コラポヘルス）	-	-	-	-	-	-	・従業員の健康意識向上及び職場環境改善を目指した事業主及び産業医との連携	＜サマリー＞ ・当健保では、第3期データヘルス計画においてさらに効果的・効率的な保健事業を実施していくため、事業所と健康問題を共有化し、保健事業への事業所の協力を得ながら進めていく。	
													-	-	-	-	-	-			
													開催回数(【実績値】 12回 【目標値】 令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-								本事業単独でのアウトカム設定に馴染まないため(アウトカムは設定されていません)
加入者への意識づけ																					
保健指導宣伝	2	既存	個別的情報提供（ケンボマイポータル）	全て	男女	18～74	加入者全員	1	エ	ケンボマイポータルを介した継続的な個別の情報（医療費通知・医療費控除関連・家庭用常備薬購入・保養所予約等）の提供	ウ	健保主体での実施事業及び事業主への情報提供・連携	-	-	-	-	-	-	・加入者の健康増進の意識付け	＜健康リスク分析（2022年度）＞ ※被保険者の40歳以上 ・健康リスクは基本的に男性が高く、加齢とともに上昇し、また、40歳代時点でも一定の保有者が存在する。 ・2021年度と比較して被保険者の男女ともに特に「血圧リスク（受診勧奨レベル）」は悪化傾向となる。	
													-	-	-	-	-	-			
													被保険者のユーザ登録率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)被保険者のユーザ登録数／被保険者数								現時点で本事業のアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)
2	既存	医療費通知	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ス	・KW21-Connectより医療費通知を随時閲覧 ・年間分の医療費を翌2月に郵送	シ	・健保主体での実施事業	-	-	-	-	-	-	・医療費に関する意識向上	＜医療費分析（2019～2022年度）＞ ※被保険者 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の一人当たり医療費は減少しているが、2019→2022年度は増加している。 ・一人当たり医療費（2022年度）は約158,563円である。 ・加齢に伴い医療費は増加するが、特に40歳代後半になると増加する。		
												-	-	-	-	-	-				
												通知回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-								本事業単独でのアウトカム設定に馴染まないため(アウトカムは設定されていません)	
個別の事業																					
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健康診査	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	3	イ,エ,オ,カ,キ,ク,ケ,コ,サ	事業所が実施する法定健診や、家族健診・任意継続者健診に併せて実施（通年）	ア,イ,ウ,エ	事業主との共同実施	-	-	-	-	-	-	・被保険者の特定健診受診率向上 ・メタボリックシンドローム・生活習慣病の早期発見・早期治療	＜特定健診分析（2022年度）＞ ・被保険者は定期健診と共同実施しており、受診率は97.7%と高水準である。 ※全健保平均92.6%（2021年度） ・被扶養者は家族健診等を実施しており、受診率は72.8%であり、2019～2021年度にかけて年々増加している。 ※全健保平均47.9%（2021年度）	
													-	-	-	-	-	-			
													受診率(【実績値】 90.4% 【目標値】 令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)-								積極的支援対象率(【実績値】 8.7% 【目標値】 令和6年度：8% 令和7年度：8% 令和8年度：8% 令和9年度：8% 令和10年度：8% 令和11年度：8%)・積極的支援対象率は法定報告の項番33で測定（数字は未達が目標）
													動機付支援対象率(【実績値】 7.5% 【目標値】 令和6年度：7% 令和7年度：7% 令和8年度：7% 令和9年度：7% 令和10年度：7% 令和11年度：7%)・動機付け支援対象率は法定報告の項番44で測定（数字は未達が目標）								
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ,エ,オ,カ,キ,ク,ケ,コ,サ	被保険者：事業者保健師の勧奨/実施 被扶養者・任継者：ICT型を案内	ア,イ,ウ,キ	事業主とのコラポヘルスによる受診勧奨検討及び健診結果の共有	-	-	-	-	-	-	・特定保健指導実施率向上及び特定保健指導対象者の減少 ・メタボリックシンドローム・生活習慣病の早期改善	＜特定保健指導分析（2022年度）＞ ・被保険者の実施率は34.1%（全健保平均32.4%（2021年度））にとどまっており、特保該当者率は19.1%（全健保平均20.5%（2021年度））であり、2019～2021年度にかけて年々減少している。 ・被扶養者の実施率は13.3%（全健保平均16.0%（2021年度））にとどまっており、特保該当者率は9.1%（全健保平均8.4%（2021年度））と、被扶養者に対する受診率向上が課題となる。	
													-	-	-	-	-	-			
													実施率(【実績値】 38% 【目標値】 令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)-								特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 29.8% 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)・特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率は法定報告の項番31で測定

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度					
アウトプット指標													アウトカム指標												
保健指導 宣伝	7	既存	ジェネリック 利用促進	全て	男女	15 ～ 74	基準該 当者	1	キ	・定期的な差額通知 ・利用希望シール配布 ・切替の効果測定 ・周知、啓発活動（保険 証交付時に冊子交付）	ア	・健保主体での実施事業 及び事業主への情報提供 ・連携	・定期的な差額通知 ・利用希望シール配布 ・切替の効果測定 ・周知、啓発活動 （保険証交付時に冊子 交付）	・定期的な差額通知 ・利用希望シール配布 ・切替の効果測定 ・周知、啓発活動 （保険証交付時に冊子 交付）	・定期的な差額通知 ・利用希望シール配布 ・切替の効果測定 ・周知、啓発活動 （保険証交付時に冊子 交付）	・定期的な差額通知 ・利用希望シール配布 ・切替の効果測定 ・周知、啓発活動 （保険証交付時に冊子 交付）	・定期的な差額通知 ・利用希望シール配布 ・切替の効果測定 ・周知、啓発活動 （保険証交付時に冊子 交付）	・定期的な差額通知 ・利用希望シール配布 ・切替の効果測定 ・周知、啓発活動 （保険証交付時に冊子 交付）	・後発医薬品利用促進による調剤医療費の 適正化・削減	＜ジェネリック分析（2022年度） ＞ ・2022年度（年間）のジェネリッ ク利用率は数量ベースで81.8％で あり、全国の平均（79.94％）を若 干上回る。（国の公表値）					
	差額通知の送付回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-													後発医薬品の利用率(【実績値】79.2％ 【目標値】令和6年度：80％ 令和7年度：80％ 令和8年度：80％ 令和9年度：80％ 令和10年度：80％ 令和11年度：80％)数量ベース											
疾病予 防	4	既存	重症化予防プ ログラム（糖 尿病性腎症）	全て	男女	18 ～ 74	基準該 当者	3	イ,エ,キ,ク	被扶養者を対象として重 症化予防プログラムを実 施（ICT型プログラムを案 内）	ア,イ,ウ	外部委託先との連携	重症化予防プログラムの 実施	重症化予防プログラムの 実施	重症化予防プログラムの 実施	重症化予防プログラムの 実施	重症化予防プログラムの 実施	重症化予防プログラムの 実施	重症化予防プログラムによる健康リスクの 低下及び医療費の削減	＜高額医療費分析（2022年度）＞ ・被保険者の人工透析導入者数は8 名である。 ・総医療費のうち、高額医療費の方 （年間医療費の上位2％）が約36 ％の医療費を要している。 ・高額医療費の方が保有する疾病 は主に①生活習慣病の重症化疾患 （人工透析・脳血管・虚血性心疾 患） ②新生物 ③その他（妊娠に 伴う疾病や難病など）である。					
	実施者数(【実績値】0人 【目標値】令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-													人工透析新規導入者数(【実績値】0人 【目標値】令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)実施者の翌年度の人工透析新規導入者数											
	3	既存	家族健診	全て	女性	30 ～ 74	被扶養 者	1	イ,オ,カ,キ ク,コ	被扶養者を対象にがん検 診等を実施（健保HPによ る案内。主に9-3月頃）	ウ,エ,キ	健保主体の取組み	被扶養者を対象にがん検 診等を実施 （健保HPによる案内。主 に9-3月頃）	被扶養者を対象にがん検 診等を実施 （健保HPによる案内。主 に9-3月頃）	被扶養者を対象にがん検 診等を実施 （健保HPによる案内。主 に9-3月頃）	被扶養者を対象にがん検 診等を実施 （健保HPによる案内。主 に9-3月頃）	被扶養者を対象にがん検 診等を実施 （健保HPによる案内。主 に9-3月頃）	被扶養者を対象にがん検 診等を実施 （健保HPによる案内。主 に9-3月頃）	・被扶養者を対象に各種疾患リスクの早期 発見・早期治療	＜特定健診分析（2022年度）＞ ・被保険者は定期健診と共同実施 しており、受診率は97.7％と高水 準である。 ※全健保平均92.6％（2021年度） ・被扶養者は家族健診等を実施し ており、受診率は72.8％であり、2 019～2021年度にかけて年々増加 している。 ※全健保平均47.9％（2021年度）					
	実施率(【実績値】73％ 【目標値】令和6年度：75％ 令和7年度：75％ 令和8年度：75％ 令和9年度：75％ 令和10年度：75％ 令和11年度：75％)-													本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)											
	3	既存	任意継続者健 診（前期高齢 者対策）	全て	男女	40 ～ 74	定年退 職予定 者,任意 継続者	1	イ,ウ,キ	任意継続被保険者・被扶 養者を対象にがん検診等 を実施（健保HPによる案 内。主に2-3月頃）	ア,イ,ウ	健保主体の取組み	がん検診等を実施 （健保HPによる案内。主 に2-3月頃）	がん検診等を実施 （健保HPによる案内。主 に2-3月頃）	がん検診等を実施 （健保HPによる案内。主 に2-3月頃）	がん検診等を実施 （健保HPによる案内。主 に2-3月頃）	がん検診等を実施 （健保HPによる案内。主 に2-3月頃）	がん検診等を実施 （健保HPによる案内。主 に2-3月頃）	・任意継続被保険者・被扶養者を対象に各 種疾患リスクの早期発見・早期治療	＜特定健診分析（2022年度）＞ ・被保険者は定期健診と共同実施 しており、受診率は97.7％と高水 準である。 ※全健保平均92.6％（2021年度） ・被扶養者は家族健診等を実施し ており、受診率は72.8％であり、2 019～2021年度にかけて年々増加 している。 ※全健保平均47.9％（2021年度）					
	受診率(【実績値】66％ 【目標値】令和6年度：70％ 令和7年度：70％ 令和8年度：70％ 令和9年度：70％ 令和10年度：70％ 令和11年度：70％)-													本事業単独でのアウトカム設定に馴染まないため (アウトカムは設定されていません)											

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	3	既存	人間ドック補助	全て	男女	30 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	イ,ウ,オ	人間ドックの費用補助を 実施	ウ	健保主体の取組み	人間ドックの費用補助を 実施	人間ドックの費用補助を 実施	人間ドックの費用補助を 実施	人間ドックの費用補助を 実施	人間ドックの費用補助を 実施	人間ドックの費用補助を 実施	・生活習慣病をはじめとする体の異常を早期 発見・早期治療	＜疾病別医療費分析（2022年度）＞ 【疾病大分類】 ・総医療費が高額なのは新生物、 循環器、消化器疾患である。また、 レセプト1件当たり医療費が高額 なのは先天奇形、新生物、妊娠で ある。 ・最も着目する疾病は、被保険者 では新生物・循環器疾患、被扶養 者では呼吸器疾患である。 ＜高額医療費分析（2022年度）＞ ・被保険者の人工透析導入者数は8 名である。 ・総医療費のうち、高額医療費の 方（年間医療費の上位2%）が約36 %の医療費を要している。 ・高額医療費の方が保有する疾病 は主に①生活習慣病の重症化疾患 （人工透析・脳血管・虚血性心疾 患） ②新生物 ③その他（妊娠に 伴う疾病や難病など）である。					
受診者数(【実績値】 22人 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-													本事業単独でのアウトカム設定に馴染まないため (アウトカムは設定されていません)												
	3	既存	脳ドック補助	全て	男女	30 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	脳ドックの費用補助を 実施	シ	健保主体の取組み	脳ドックの費用補助	脳ドックの費用補助	脳ドックの費用補助	脳ドックの費用補助	脳ドックの費用補助	脳ドックの費用補助	・脳梗塞などの脳疾患発症リスクの早期 発見・早期治療	＜疾病別医療費分析（2022年度）＞ 【疾病大分類】 ・総医療費が高額なのは新生物、 循環器、消化器疾患である。また、 レセプト1件当たり医療費が高額 なのは先天奇形、新生物、妊娠で ある。 ・最も着目する疾病は、被保険者 では新生物・循環器疾患、被扶養 者では呼吸器疾患である。 ＜高額医療費分析（2022年度）＞ ・被保険者の人工透析導入者数は8 名である。 ・総医療費のうち、高額医療費の 方（年間医療費の上位2%）が約36 %の医療費を要している。 ・高額医療費の方が保有する疾病 は主に①生活習慣病の重症化疾患 （人工透析・脳血管・虚血性心疾 患） ②新生物 ③その他（妊娠に 伴う疾病や難病など）である。					
受診人数(【実績値】 8人 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-													現時点で本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)												
													-	-	-	-	-	-							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	3	既存	がん健診	全て	男女	30～74	被保険者	1	ウ	・被保険者を対象にがん検診（婦人科健診を含む）を実施。 ・有所見者に対する受診勧奨	ウ	・事業主及び産業医との連携	・被保険者を対象にがん検診（婦人科健診を含む）を実施。 ・有所見者に対する受診勧奨	・被保険者を対象にがん検診（婦人科健診を含む）を実施。 ・有所見者に対する受診勧奨	・被保険者を対象にがん検診（婦人科健診を含む）を実施。 ・有所見者に対する受診勧奨	・被保険者を対象にがん検診（婦人科健診を含む）を実施。 ・有所見者に対する受診勧奨	・被保険者を対象にがん検診（婦人科健診を含む）を実施。 ・有所見者に対する受診勧奨	・被保険者を対象にがん検診（婦人科健診を含む）を実施。 ・有所見者に対する受診勧奨	・対象となるがんの早期発見、早期治療	＜疾病別医療費分析（2022年度）＞ ・【疾病大分類】 ・総医療費が高額なのは新生物、循環器、消化器疾患である。また、レセプト1件当たり医療費が高額なのは先天奇形、新生物、妊娠である。 ・最も着目する疾病は、被保険者では新生物・循環器疾患、被扶養者では呼吸器疾患である。 ＜高額医療費分析（2022年度）＞ ・被保険者の人工透析導入者数は8名である。 ・総医療費のうち、高額医療費の方（年間医療費の上位2％）が約36％の医療費を要している。 ・高額医療費の方が保有する疾病は主に①生活習慣病の重症化疾患（人工透析・脳血管・虚血性心疾患） ②新生物 ③その他（妊娠に伴う疾病や難病など）である。 ＜新生物（2019-2022年度）＞ ・2019年度以降の新生物の総医療費は高水準で推移している。 ・被保険者・被扶養者の女性で乳がんの医療費・保有率が高水準で経年推移している。 ・被保険者の男性で2021年度と比較し、直腸がんの保有率が悪化している。					
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：45％ 令和7年度：45％ 令和8年度：45％ 令和9年度：45％ 令和10年度：45％ 令和11年度：45％)胃がん健診（母体企業の3大事業所）													精密検査受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50％ 令和7年度：50％ 令和8年度：50％ 令和9年度：50％ 令和10年度：50％ 令和11年度：50％)胃がん健診（母体企業の3大事業所）												
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：98％ 令和7年度：98％ 令和8年度：98％ 令和9年度：98％ 令和10年度：98％ 令和11年度：98％)肺がん健診（母体企業の3大事業所）													精密検査受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50％ 令和7年度：50％ 令和8年度：50％ 令和9年度：50％ 令和10年度：50％ 令和11年度：50％)肺がん健診（母体企業の3大事業所）												
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：98％ 令和7年度：98％ 令和8年度：98％ 令和9年度：98％ 令和10年度：98％ 令和11年度：98％)大腸がん健診（母体企業の3大事業所）													精密検査受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50％ 令和7年度：50％ 令和8年度：50％ 令和9年度：50％ 令和10年度：50％ 令和11年度：50％)大腸がん健診（母体企業の3大事業所）												
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：35％ 令和7年度：35％ 令和8年度：35％ 令和9年度：35％ 令和10年度：35％ 令和11年度：35％)乳がん健診（母体企業の3大事業所）													精密検査受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50％ 令和7年度：50％ 令和8年度：50％ 令和9年度：50％ 令和10年度：50％ 令和11年度：50％)乳がん健診（母体企業の3大事業所）												
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：35％ 令和7年度：35％ 令和8年度：35％ 令和9年度：35％ 令和10年度：35％ 令和11年度：35％)子宮がん健診（母体企業の3大事業所）													精密検査受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50％ 令和7年度：50％ 令和8年度：50％ 令和9年度：50％ 令和10年度：50％ 令和11年度：50％)子宮がん健診（母体企業の3大事業所）												
8	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ア	・インフルエンザ予防接種（主に10～12月実施）の費用補助 ・巡回接種も実施	カ	・事業主との連携	インフルエンザ予防接種の費用補助	インフルエンザ予防接種の費用補助	インフルエンザ予防接種の費用補助	インフルエンザ予防接種の費用補助	インフルエンザ予防接種の費用補助	インフルエンザ予防接種の費用補助	・インフルエンザ及びコロナウィルス感染者（被扶養者）の減少 ・呼吸器疾患医療費の減少	＜呼吸器（2019-2022年度）＞ ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の呼吸器系疾患の総医療費が下がっているが、2021年度・2022年度とともに増加傾向となっている。 ・被保険者の男女とも肺炎を除き呼吸器の保有率が全体的に増加している。						
接種率(【実績値】 53％ 【目標値】 令和6年度：60％ 令和7年度：60％ 令和8年度：60％ 令和9年度：60％ 令和10年度：60％ 令和11年度：60％)-													現時点で本事業のアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
5	新規	メンタルヘルス対策	全て	男女	18～74	加入者全員	2	エ	・ふれあい健康財団の健康づくり教室を開催 ・加入者全体を対象としたメンタル講座（オンライン）を実施 ・被保険者・被扶養者向けにメンタル相談窓口（事業主主体）	ア,シ	・事業主及びふれあい健康財団との連携	・ふれあい健康財団の健康づくり教室を開催 ・加入者全体を対象としたメンタル講座（オンライン）を実施	・ふれあい健康財団の健康づくり教室を開催 ・加入者全体を対象としたメンタル講座（オンライン）を実施	・ふれあい健康財団の健康づくり教室を開催 ・加入者全体を対象としたメンタル講座（オンライン）を実施	・ふれあい健康財団の健康づくり教室を開催 ・加入者全体を対象としたメンタル講座（オンライン）を実施	・ふれあい健康財団の健康づくり教室を開催 ・加入者全体を対象としたメンタル講座（オンライン）を実施	・ふれあい健康財団の健康づくり教室を開催 ・加入者全体を対象としたメンタル講座（オンライン）を実施	・従業員メンタルヘルス改善及び精神疾患による休職者の減少・精神疾患医療費の減少	＜精神疾患（2019-2022年度）＞ ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の精神疾患の総医療費は上がっているが、2021年度・2022年度とともに減少傾向となっている。 ・特に神経・ストレス障害の保有率が20代の若年層世代から高い。また、2021年度と比較し、統合失調症、うつ病・気分障害、神経・ストレス障害の保有率は増加傾向にある。						
メンタル講座の利用者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-													現時点で本事業のアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
5	新規		食事に関する健康づくり	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ケ	健康セミナー（栄養管理等）の実施	シ	外部委託先との連携	健康セミナー（栄養管理等）の実施	健康セミナー（栄養管理等）の実施	健康セミナー（栄養管理等）の実施	健康セミナー（栄養管理等）の実施	健康セミナー（栄養管理等）の実施	健康セミナー（栄養管理等）の実施	健康セミナー（栄養管理等）の実施	・従業員の食事習慣の改善及び生活習慣病リスクの改善	＜生活習慣・改善意識分析（2022年度）＞ ※被保険者の40歳以上 ・被保険者男性の喫煙率は3割前後であり、禁煙対策の推進が重要です。また、女性の適切な運動習慣率が約20-30%と低く、積極的なウォーキングイベントの家族参加型参加啓発など、運動習慣対策が必要です。			
セミナー開催回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												適切な食事習慣を有する者の割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：51% 令和7年度：51% 令和8年度：51% 令和9年度：51% 令和10年度：51% 令和11年度：51%)-												
5	既存		運動対策（歩数イベント）	全て	男女	18～74	被保険者	3	ア,エ,ケ	QOLism(キュオリズム)アプリを活用したウォーキングイベントの実施	ア,イ,ウ	事業主及び外部委託先との連携	ウォーキングイベントの実施	ウォーキングイベントの実施	ウォーキングイベントの実施	ウォーキングイベントの実施	ウォーキングイベントの実施	ウォーキングイベントの実施	ウォーキングイベントの実施	・運動に関する健康づくり事業の実施及び肥満解消率の向上	＜生活習慣・改善意識分析（2022年度）＞ ※被保険者の40歳以上 ・被保険者男性の喫煙率は3割前後であり、禁煙対策の推進が重要です。また、女性の適切な運動習慣率が約20-30%と低く、積極的なウォーキングイベントの家族参加型参加啓発など、運動習慣対策が必要です。			
参加率(【実績値】 11% 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-												現時点で本事業のアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
予算措置なし	8	既存	家庭用常備薬斡旋	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ア,エ	家庭用常備薬を案内（斡旋）	ク	外部委託先との連携	家庭用常備薬を案内（斡旋）	家庭用常備薬を案内（斡旋）	家庭用常備薬を案内（斡旋）	家庭用常備薬を案内（斡旋）	家庭用常備薬を案内（斡旋）	家庭用常備薬を案内（斡旋）	家庭用常備薬を案内（斡旋）	加入者に対して家庭用常備薬の利用を推奨し、医療費の抑制を図る	＜医療費分析（2019～2022年度）＞ ※被保険者 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の一人当たり医療費は減少しているが、2019→2022年度は増加している。 ・一人当たり医療費（2022年度）は約158,563円である。 ・加齢に伴い医療費は増加するが、特に40歳代後半になると増加する。			
	実施回数(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												現時点で測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)											
	3	既存		歯科健診・歯科保健指導の実施	母体企業	男女	18～74	被保険者	2	ケ,ス	歯科健診センターの提携先歯科医院を紹介（健保HPより案内）	シ	歯科健診センターとの連携	歯科健診センターの提携先歯科医院を紹介（健保HPより案内）	歯科健診センターの提携先歯科医院を紹介（健保HPより案内）	歯科健診センターの提携先歯科医院を紹介（健保HPより案内）	歯科健診センターの提携先歯科医院を紹介（健保HPより案内）	歯科健診センターの提携先歯科医院を紹介（健保HPより案内）	歯科健診センターの提携先歯科医院を紹介（健保HPより案内）	歯科健診センターの提携先歯科医院を紹介（健保HPより案内）	口腔状態の管理・指導及び口腔ケアの意識向上・習慣の定着	＜健康リスク分析（2022年度）＞ ※被保険者の40歳以上 ・健康リスクは基本的に男性が高く、加齢とともに上昇し、また、40歳代時点でも一定の保有者が存在する。 ・2021年度と比較して被保険者の男女ともに特に「血圧リスク（受診勧奨レベル）」は悪化傾向となる。		
受診者数(【実績値】 49人 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-												現時点で本事業のアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
5	既存		禁煙対策（禁煙プロジェクト）	母体企業	男女	18～74	被保険者	2	ケ	・禁煙プロジェクトの実施 ・事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	ア,イ,ウ	・事業主及び外部委託先との連携	・禁煙プロジェクトの実施 ・事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	・禁煙プロジェクトの実施 ・事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	・禁煙プロジェクトの実施 ・事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	・禁煙プロジェクトの実施 ・事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	・禁煙プロジェクトの実施 ・事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	・禁煙プロジェクトの実施 ・事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	・禁煙プロジェクトの実施 ・事業者による喫煙所の利用日時制限/閉鎖	・喫煙率の低下及び健康リスク（肥満・血圧・血糖・脂質・肝機能・腎機能リスク）の低下	＜生活習慣・改善意識分析（2022年度）＞ ※被保険者の40歳以上 ・被保険者男性の喫煙率は3割前後であり、禁煙対策の推進が重要です。また、女性の適切な運動習慣率が約20-30%と低く、積極的なウォーキングイベントの家族参加型参加啓発など、運動習慣対策が必要です。			
参加者数(【実績値】 1人で測定 【目標値】 令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)※事業主において測定												※事業主において測定(アウトカムは設定されていません)												

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. I C Tの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他